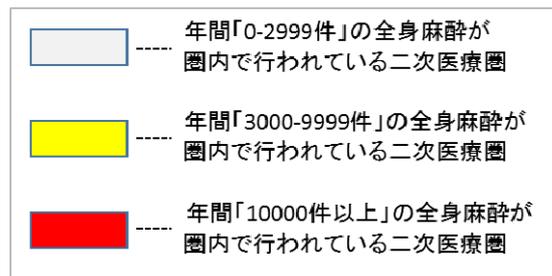
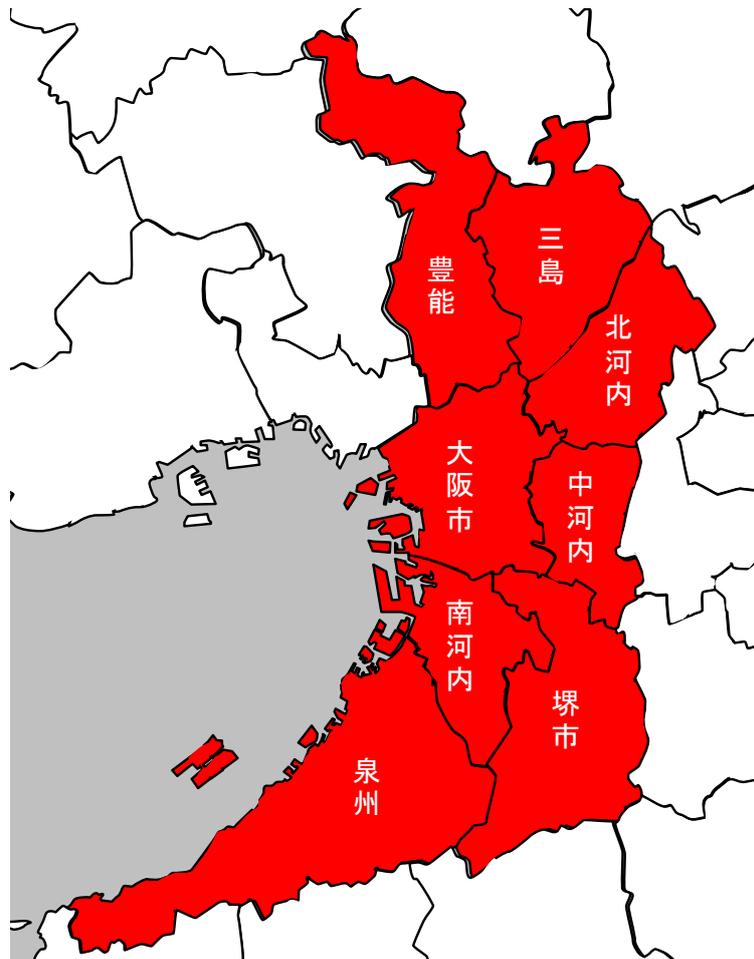


27. 大阪府



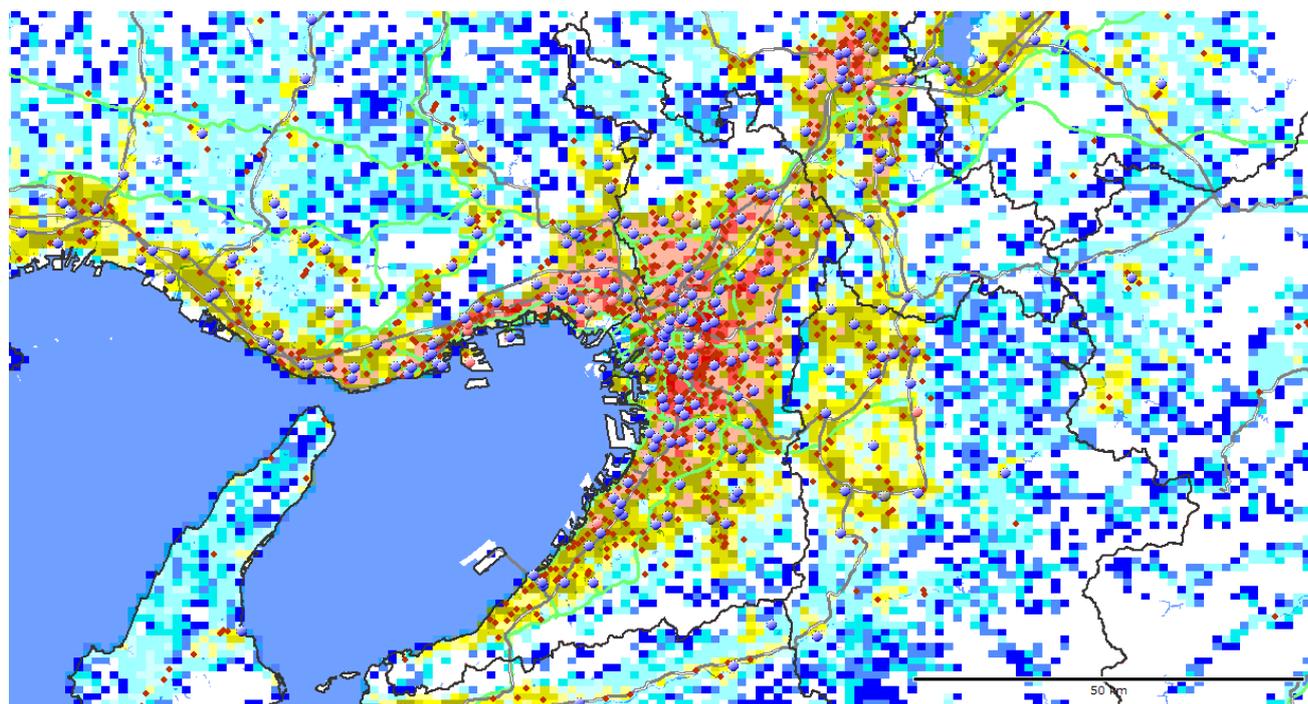
27. 大阪府

目次

大阪府.....	27 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	27 - 7
1. 豊能医療圏.....	27 - 19
2. 三島医療圏.....	27 - 23
3. 北河内医療圏.....	27 - 27
4. 中河内医療圏.....	27 - 31
5. 南河内医療圏.....	27 - 35
6. 堺市医療圏.....	27 - 39
7. 泉州医療圏.....	27 - 43
8. 大阪市医療圏.....	27 - 47

27. 大阪府

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 大阪府を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(大阪府) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 大阪府は、総人口約 8808 千人(2015 年推計)、面積 1898 km²、人口密度は 4640 人/km²である。

*人口の将来予測： 大阪府の総人口は 2025 年に 8410 千人へと減少し(2015 年比-5%)、2040 年に 7454 千人へと減少する(2025 年比-11%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 1070 千人が、2025 年にかけて 1528 千人へと増加し(2015 年比+43%)、2040 年には 1472 千人へと減少する(2025 年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 大阪府の一人当たり医療費(国保)は 316 千円(偏差値 51)、介護給付費は 255 千円(偏差値 51)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 大阪府の一人当たり急性期医療密度指数²は 1.07、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.01 で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 54(病院医師数 54、診療所医師数 55)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 49 と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 52 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 52 と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 50 と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 50 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 51 と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 48 で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 58 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 大阪府の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、95163 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 51177 床(偏差値 42)、高齢者住宅等が 43986 床(偏差値 53)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、66944 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 42)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 43、特別養護老人ホーム 45、介護療養型医療施設 45、有料老人ホーム 51、軽費ホーム 50、グループホーム 45、サ高住 59 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 68 と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値 54 とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、27327 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 73)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)³

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は85343床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は101100床であり、その差は+15757床(+18%)である。

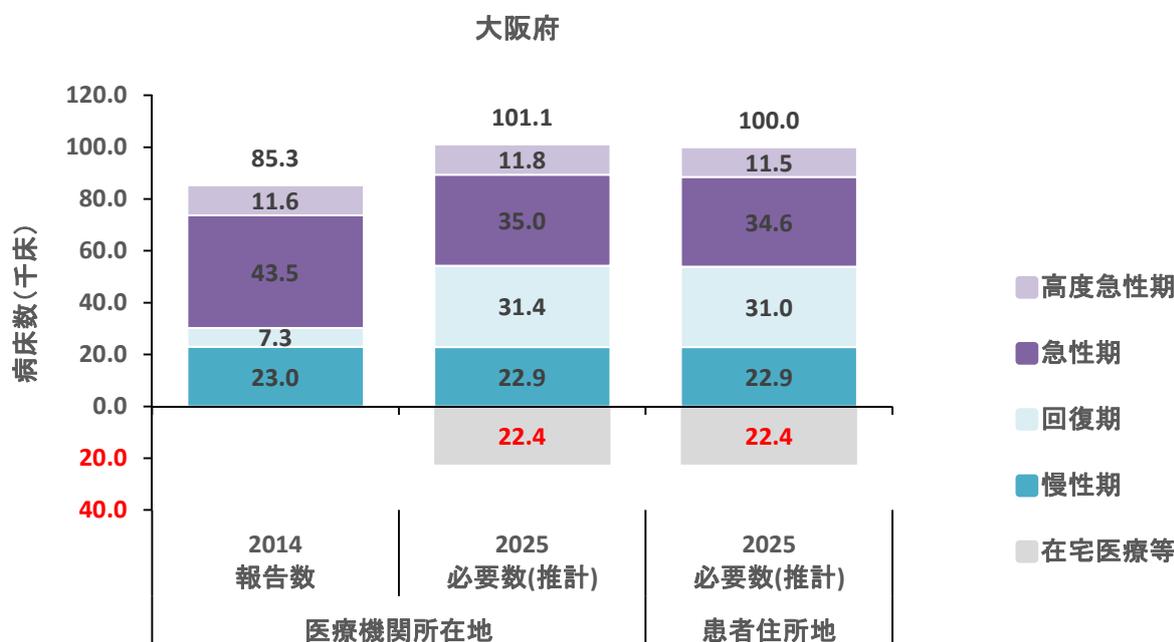
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は11587床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は11800床であり、その差は+213床(+2%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は43521床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は35000床であり、その差は-8521床(-20%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は7260床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は31400床であり、その差は+24140床(+333%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は22975床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は22900床であり、その差は-75床(±0%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は22400人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-13%であり、介護の充足度は低い。2040年の介護充足度指数は-55%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

³必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

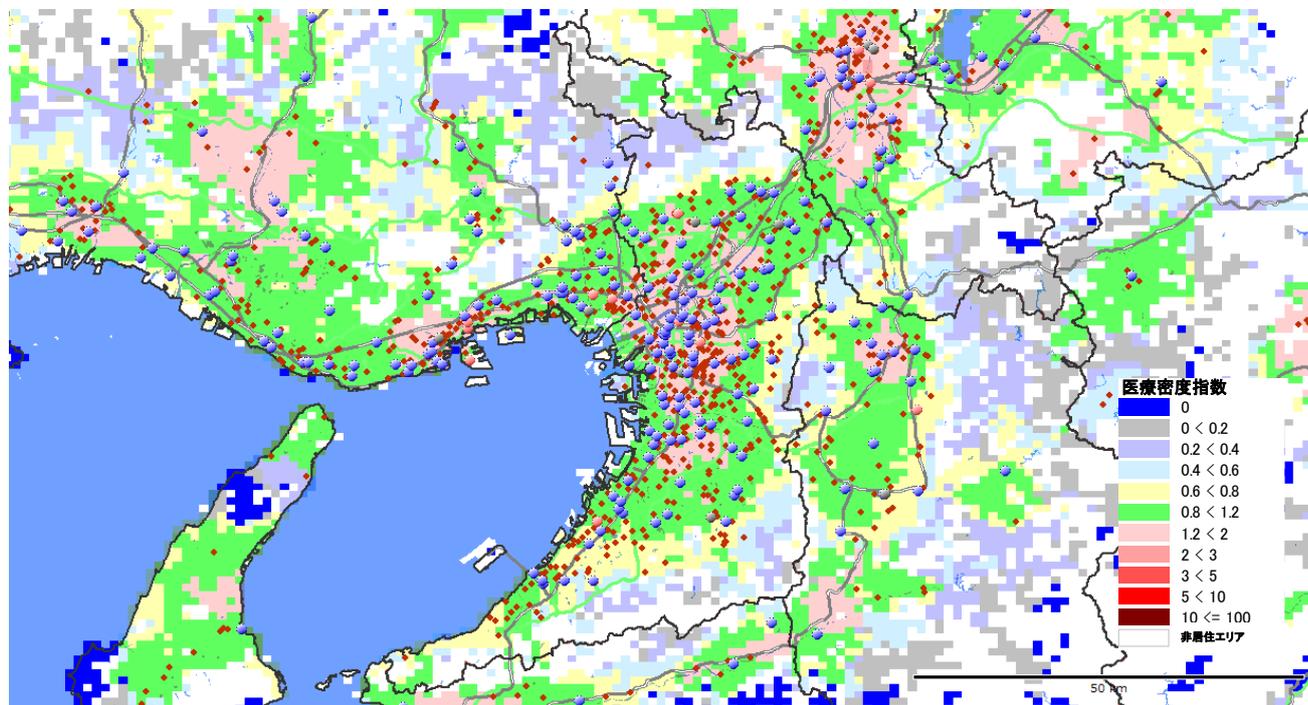
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベット数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

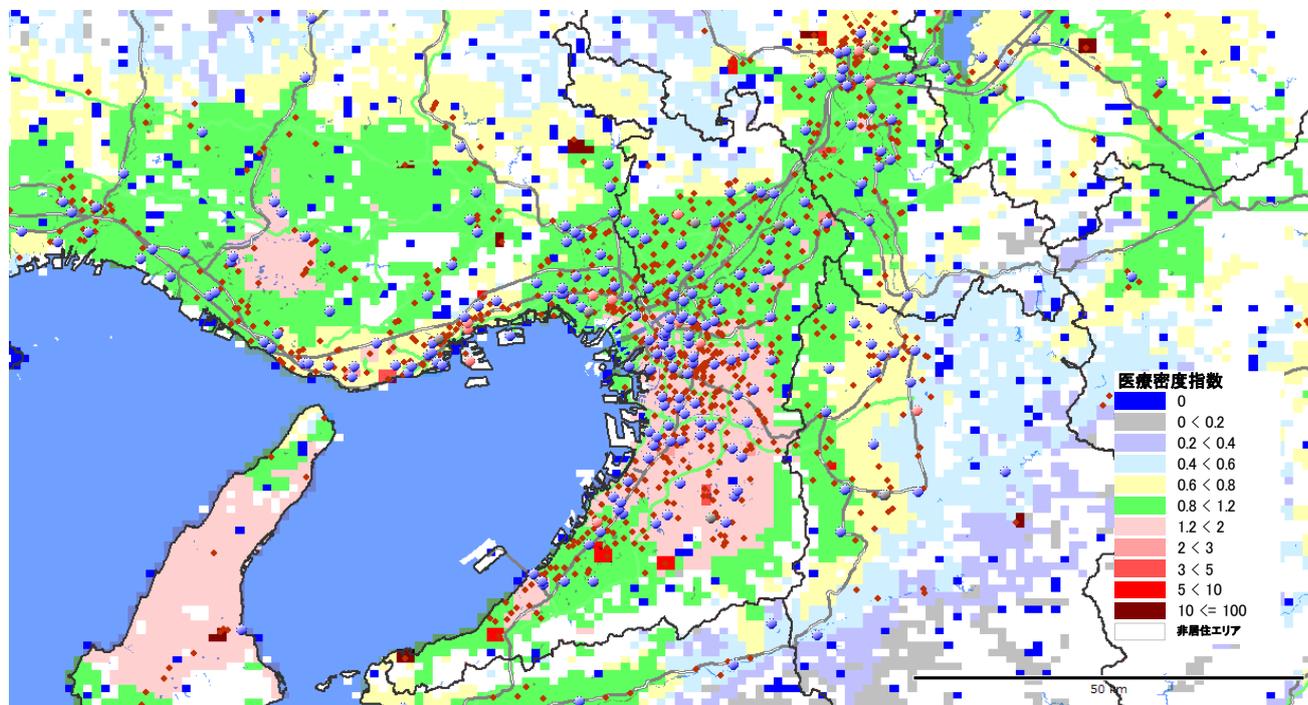
27. 大阪府

2. 医療密度⁵

図表 27-1 急性期医療密度指数マップ



図表 27-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料¹

資_図表 27-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
大阪府	8,808	3位	1,898	46位	4,639.7		27%	8,410	7,454	1,070	1,528	1,472	-5%	-11%	43%	-4%
豊能	1,008	11%	275	15%	3,657.8	大都市型	26%	968	865	119	173	174	-4%	-11%	45%	1%
三島	749	9%	213	11%	3,508.5	大都市型	26%	731	667	85	131	125	-2%	-9%	54%	-5%
北河内	1,172	13%	177	9%	6,608.9	大都市型	28%	1,109	956	138	215	201	-5%	-14%	56%	-7%
中河内	838	10%	129	7%	6,497.7	大都市型	28%	779	659	105	150	137	-7%	-15%	43%	-9%
南河内	620	7%	290	15%	2,137.9	大都市型	28%	575	484	80	116	111	-7%	-16%	45%	-4%
堺市	842	10%	150	8%	5,611.0	大都市型	27%	814	739	100	146	135	-3%	-9%	46%	-8%
泉州	917	10%	441	23%	2,079.1	大都市型	25%	881	792	104	148	148	-4%	-10%	42%	0%
大阪市	2,664	30%	222	12%	11,973.7	大都市型	26%	2,553	2,292	340	448	442	-4%	-10%	32%	-1%

出典 <人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資_図表 27-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
大阪府	1.07	1.01	-12.9%	-61.2%	-55.3%
豊能	1.09	0.57	-6.9%	-55.0%	-56.0%
三島	1.00	0.62	-24.1%	-90.9%	-82.3%
北河内	1.00	0.68	-13.3%	-77.2%	-65.4%
中河内	0.87	1.15	-29.9%	-86.0%	-69.5%
南河内	0.93	1.65	-18.3%	-72.1%	-64.4%
堺市	1.09	1.57	-25.2%	-83.5%	-69.0%
泉州	0.78	1.07	-36.6%	-94.3%	-93.3%
大阪市	1.31	0.85	-12.5%	-48.5%	-46.4%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

¹日医総研 WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

27. 大阪府

資_図表 27-3 医療費、介護給付費²

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
大阪府	316	51	255	51
豊能	323	53	237	46
三島	336	56	202	37
北河内	312	50	228	44
中河内	320	52	250	50
南河内	323	53	244	48
堺市	333	55	255	51
泉州	326	54	245	49
大阪市	303	48	297	63
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資_図表 27-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
大阪府	535	6.3%	6.1	48	8,293	8.2%	94	58
豊能	47	9%	4.7	45	957	12%	95	58
三島	39	7%	5.2	46	587	7%	78	49
北河内	60	11%	5.1	46	880	11%	75	48
中河内	41	8%	4.9	46	671	8%	80	50
南河内	39	7%	6.3	49	462	6%	75	48
堺市	45	8%	5.3	47	715	9%	85	53
泉州	78	15%	8.5	54	658	8%	72	46
大阪市	186	35%	7.0	51	3,363	41%	126	74
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

²複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

資_図表 27-5 診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数（再掲）				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,528		79	(19.6)	91,279		72	(19.0)	9,249		7.3	(7.0)
大阪府	8,293	8.2%	94	58	7,975	8.7%	91	60	318	3.4%	3.6	45
豊能	957	12%	95	58	931	12%	92	61	26	8%	2.6	43
三島	587	7%	78	49	561	7%	75	51	26	8%	3.5	45
北河内	880	11%	75	48	826	10%	70	49	54	17%	4.6	46
中河内	671	8%	80	50	644	8%	77	53	27	8%	3.2	44
南河内	462	6%	75	48	449	6%	72	50	13	4%	2.1	43
堺市	715	9%	85	53	684	9%	81	55	31	10%	3.7	45
泉州	658	8%	72	46	622	8%	68	48	36	11%	3.9	45
大阪市	3,363	41%	126	74	3,258	41%	122	76	105	33%	3.9	45
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 27-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,573,772		1,243	(510)	121,342		96	(111)	1,695,114		1,338	(576)
大阪府	108,569	6.9%	1,233	50	2,931	2.4%	33	44	111,500	6.6%	1,266	49
豊能	10,763	10%	1,068	47	266	9%	26	44	11,029	10%	1,095	46
三島	9,057	8%	1,209	49	285	10%	38	45	9,342	8%	1,247	48
北河内	12,121	11%	1,034	46	564	19%	48	46	12,685	11%	1,082	46
中河内	7,660	7%	914	44	189	6%	23	43	7,849	7%	937	43
南河内	8,494	8%	1,370	53	169	6%	27	44	8,663	8%	1,398	51
堺市	12,479	11%	1,483	55	221	8%	26	44	12,700	11%	1,509	53
泉州	14,969	14%	1,633	58	329	11%	36	45	15,298	14%	1,669	56
大阪市	33,026	30%	1,240	50	908	31%	34	44	33,934	30%	1,274	49
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

27. 大阪府

資_図表 27-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
大阪府	65,615	7.3%	745	52	22,832	7.0%	259	50	19,401	5.7%	220	48
豊能	6,878	10%	683	49	1,746	8%	173	46	2,035	10%	202	47
三島	5,338	8%	713	50	1,118	5%	149	45	2,601	13%	347	54
北河内	7,797	12%	665	48	2,116	9%	181	46	1,959	10%	167	45
中河内	4,478	7%	535	43	1,335	6%	159	45	1,847	10%	221	48
南河内	4,809	7%	776	53	1,873	8%	302	52	1,662	9%	268	50
堺市	5,554	8%	660	48	3,919	17%	466	60	2,901	15%	345	53
泉州	4,749	7%	518	42	4,045	18%	441	59	6,165	32%	673	69
大阪市	26,012	40%	977	62	6,680	29%	251	50	231	1%	9	38
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 27-8 回復期リハビリ病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	74,508		59	(46)
大阪府	5,713	7.7%	65	51
豊能	844	15%	84	55
三島	601	11%	80	55
北河内	772	14%	66	52
中河内	374	7%	45	47
南河内	180	3%	29	44
堺市	550	10%	65	51
泉州	671	12%	73	53
大阪市	1,721	30%	65	51
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会の独自調査 平成27年3月			

資_図表 27-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
大阪府	195,852	7.6%	2,223	52	76,548	7.2%	869	51
豊能	25,560	13%	2,537	55	14,652	19%	1,454	71
三島	13,980	7%	1,866	48	6,576	9%	878	51
北河内	21,168	11%	1,806	48	8,688	11%	741	47
中河内	12,828	7%	1,531	45	5,532	7%	660	44
南河内	12,180	6%	1,965	49	4,224	6%	681	45
堺市	17,100	9%	2,032	50	5,508	7%	654	44
泉州	20,712	11%	2,260	52	8,928	12%	974	55
大阪市	72,324	37%	2,715	57	22,440	29%	842	50
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 27-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
大阪府	26,282	8.0%	298	54	16,531	8.0%	188	54	9,750	8.0%	111	55
豊能	3,231	12%	321	57	2,164	13%	215	58	1,067	11%	106	53
三島	2,070	8%	276	52	1,424	9%	190	54	645	7%	86	47
北河内	2,843	11%	243	48	1,704	10%	145	47	1,139	12%	97	50
中河内	1,741	7%	208	44	901	5%	108	41	840	9%	100	51
南河内	1,713	7%	276	52	1,282	8%	207	57	431	4%	70	41
堺市	2,172	8%	258	50	1,259	8%	150	48	913	9%	108	54
泉州	2,146	8%	234	47	1,441	9%	157	49	705	7%	77	44
大阪市	10,367	39%	389	65	6,357	38%	239	62	4,010	41%	151	68
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

27. 大阪府

資_図表 27-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
大阪府	70,862	6.6%	804	49	62,052	7.0%	704	50	8,810	4.9%	100	44
豊能	7,618	11%	756	47	6,747	11%	670	49	872	10%	86	42
三島	5,489	8%	733	46	4,906	8%	655	48	583	7%	78	41
北河内	8,328	12%	710	45	7,006	11%	598	46	1,323	15%	113	46
中河内	4,961	7%	592	41	4,178	7%	499	42	783	9%	93	43
南河内	5,195	7%	838	50	4,673	8%	754	52	522	6%	84	42
堺市	7,069	10%	840	50	6,260	10%	744	52	809	9%	96	44
泉州	7,835	11%	855	50	7,092	11%	774	53	743	8%	81	42
大阪市	24,366	34%	915	52	21,190	34%	796	54	3,176	36%	119	47
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 27-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
大阪府	7,699	6.9%	87	50	23,814	8.5%	270	55
豊能	882	11%	88	50	3,090	13%	307	59
三島	696	9%	93	51	2,338	10%	312	60
北河内	908	12%	77	48	2,204	9%	188	46
中河内	609	8%	73	47	1,278	5%	153	43
南河内	444	6%	72	47	1,246	5%	201	48
堺市	828	11%	98	52	1,541	6%	183	46
泉州	935	12%	102	53	1,502	6%	164	44
大阪市	2,396	31%	90	50	10,615	45%	398	69
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

資_図表 27-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養 支援診療 所	県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	在宅療養 支援病院	県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
大阪府	1,800	12.5%	1.7	68	90	8.8%	0.1	54
豊能	182	10%	1.5	64	5	6%	0.0	47
三島	151	8%	1.8	70	5	6%	0.1	49
北河内	143	8%	1.0	54	13	14%	0.1	55
中河内	158	9%	1.5	64	5	6%	0.0	48
南河内	118	7%	1.5	63	6	7%	0.1	52
堺市	149	8%	1.5	64	10	11%	0.1	56
泉州	132	7%	1.3	59	15	17%	0.1	64
大阪市	767	43%	2.3	81	31	34%	0.1	55
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資_図表 27-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者 施設・住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
大阪府	95,163	6.1%	89	46	51,177	5.3%	48	42	43,986	7.3%	41	53
豊能	11,135	12%	93	49	5,644	11%	47	41	5,491	12%	46	56
三島	6,728	7%	79	40	3,912	8%	46	40	2,816	6%	33	47
北河内	12,616	13%	92	48	6,491	13%	47	41	6,125	14%	44	55
中河内	9,546	10%	91	47	4,926	10%	47	41	4,620	11%	44	55
南河内	6,495	7%	82	41	4,100	8%	52	44	2,395	5%	30	45
堺市	8,831	9%	88	46	4,556	9%	46	40	4,275	10%	43	54
泉州	8,768	9%	84	43	4,770	9%	46	40	3,998	9%	38	51
大阪市	31,044	33%	91	47	16,778	33%	49	43	14,266	32%	42	54
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

27. 大阪府

資_図表 27-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム （特養） 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
大阪府	18,922	5.3%	18	43	29,812	5.5%	28	45	2,443	3.5%	2.3	45
豊能	2,038	11%	17	42	3,606	12%	30	47	0	0%	0	40
三島	1,429	8%	17	41	2,412	8%	28	46	71	3%	0.8	42
北河内	2,508	13%	18	44	3,674	12%	27	44	309	13%	2.2	45
中河内	1,552	8%	15	38	3,072	10%	29	47	302	12%	2.9	47
南河内	1,336	7%	17	41	2,502	8%	31	49	262	11%	3.3	48
堺市	1,744	9%	17	43	2,508	8%	25	42	304	12%	3.0	47
泉州	1,835	10%	18	43	2,404	8%	23	40	531	22%	5.1	52
大阪市	6,480	34%	19	45	9,634	32%	28	46	664	27%	2.0	45
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 27-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
大阪府	15,068	7.2%	14.1	51	1,255	6.1%	1.2	50	9,029	4.8%	8.4	45
豊能	2,638	18%	22.1	59	200	16%	1.7	52	917	10%	7.7	44
三島	1,212	8%	14.2	52	173	14%	2.0	54	476	5%	5.6	40
北河内	2,416	16%	17.6	55	254	20%	1.8	53	1,143	13%	8.3	45
中河内	928	6%	8.9	46	30	2%	0.3	45	959	11%	9.2	46
南河内	826	5%	10.4	48	158	13%	2.0	54	631	7%	7.9	44
堺市	936	6%	9.4	47	170	14%	1.7	52	1,112	12%	11.1	50
泉州	696	5%	6.7	44	220	18%	2.1	55	799	9%	7.7	43
大阪市	5,416	36%	15.9	53	50	4%	0.1	44	2,992	33%	8.8	46
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 27-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
大阪府	18,634	9.8%	17.4	59	119	1.3%	0.1	46	18,515	####	17.3	61
豊能	1,736	9%	14.6	55	0	0%	0	45	1,736	9%	14.6	56
三島	955	5%	11.2	49	0	0%	0	45	955	5%	11.2	50
北河内	2,312	12%	16.8	58	0	0%	0	45	2,312	12%	16.8	60
中河内	2,703	15%	25.8	73	0	0%	0	45	2,703	15%	25.8	75
南河内	780	4%	9.8	47	0	0%	0	45	780	4%	9.8	48
堺市	2,057	11%	20.6	65	0	0%	0	45	2,057	11%	20.6	66
泉州	2,283	12%	21.9	67	0	0%	0	45	2,283	12%	21.9	69
大阪市	5,808	31%	17.1	59	119	100%	0.4	48	5,689	31%	16.7	60
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 27-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
大阪府	8,310	5.4%	7.8	44	5,332	4.6%	5.0	41	2,978	8.0%	2.8	56
豊能	866	10%	7.3	42	564	11%	4.7	40	302	10%	2.5	53
三島	632	8%	7.4	42	386	7%	4.5	39	246	8%	2.9	58
北河内	1,084	13%	7.9	44	744	14%	5.4	43	341	11%	2.5	53
中河内	767	9%	7.3	42	507	10%	4.8	40	260	9%	2.5	53
南河内	640	8%	8.0	45	417	8%	5.2	42	223	7%	2.8	57
堺市	872	10%	8.7	48	479	9%	4.8	40	393	13%	3.9	71
泉州	826	10%	7.9	44	564	11%	5.4	43	262	9%	2.5	53
大阪市	2,624	32%	7.7	44	1,672	31%	4.9	41	952	32%	2.8	57
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

27. 大阪府

資_図表 27-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
大阪府	94,271	6.5%	88	50	66,944	5.4%	63	42	27,327	12.5%	25.5	73
豊能	10,279	11%	86	49	7,861	12%	66	44	2,417	9%	20.3	63
三島	6,111	6%	72	40	4,865	7%	57	38	1,246	5%	14.6	52
北河内	11,583	12%	84	48	8,904	13%	65	43	2,678	10%	19.5	61
中河内	8,776	9%	84	47	6,119	9%	58	39	2,656	10%	25.4	72
南河内	7,004	7%	88	50	5,591	8%	70	47	1,413	5%	17.8	58
堺市	9,179	10%	92	52	6,283	9%	63	42	2,896	11%	29.0	79
泉州	8,646	9%	83	47	6,016	9%	58	38	2,630	10%	25.2	72
大阪市	32,695	35%	96	55	21,304	32%	63	42	11,391	42%	33.5	87
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 27-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
大阪府	70,326	9.6%	66	59	33,655	9.6%	31	61	168,967	##	158	73
豊能	8,933	13%	75	63	3,816	11%	32	62	15,760	9%	132	65
三島	4,894	7%	57	55	2,627	8%	31	60	8,800	5%	103	56
北河内	5,718	8%	42	49	3,655	11%	27	56	18,231	11%	132	65
中河内	6,787	10%	65	58	2,420	7%	23	52	15,820	9%	151	71
南河内	3,545	5%	45	50	3,526	10%	44	75	9,282	5%	117	60
堺市	8,182	12%	82	65	3,472	10%	35	65	18,041	11%	181	81
泉州	6,586	9%	63	58	2,343	7%	22	51	16,288	10%	156	73
大阪市	25,681	37%	76	63	11,796	35%	35	65	66,745	40%	196	86
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 27-21 公的病院病床数、民間病院病床数

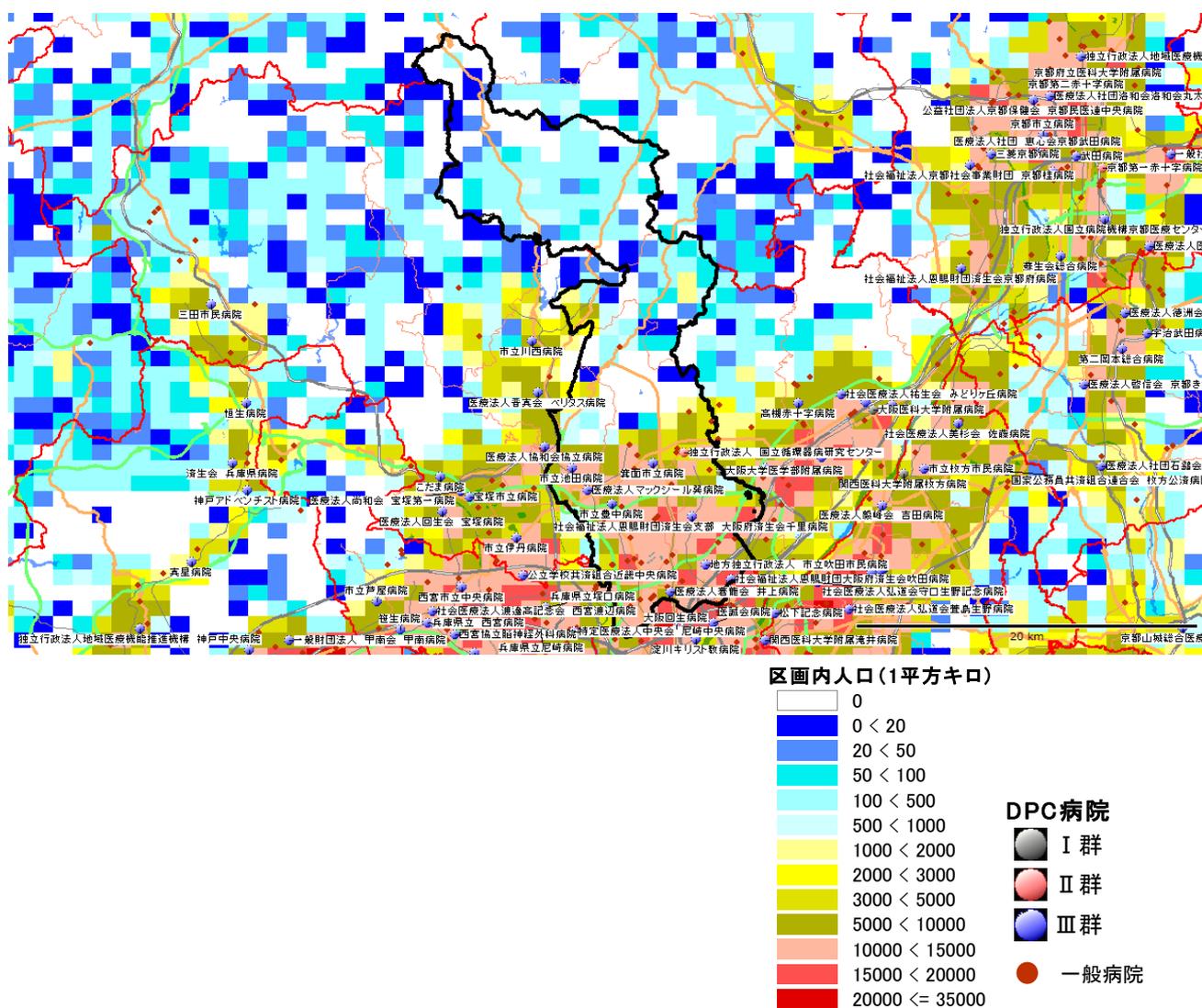
二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
大阪府	28,530	24,705	924	79,448	41,253	21,245	37.5%	44	4.2%	48
豊能	5,078	4,872	0	6,099	2,330	1,786	67.6%	56	0.0%	46
三島	975	844	131	8,033	4,422	1,034	16.0%	35	11.2%	51
北河内	2,749	2,218	0	9,293	5,663	2,153	28.1%	40	0.0%	46
中河内	1,772	1,177	58	5,764	3,257	1,247	26.5%	39	4.4%	48
南河内	1,629	1,363	0	6,821	3,483	1,786	28.1%	40	0.0%	46
堺市	2,972	1,836	38	9,343	3,558	3,903	34.0%	43	1.0%	46
泉州	2,225	2,012	203	12,581	2,925	3,509	40.8%	45	5.5%	48
大阪市	11,130	10,383	494	21,514	15,615	5,827	39.9%	45	7.8%	49
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

27. 大阪府

とよの 27-1. 豊能医療圏

構成市区町村¹ 豊中市,池田市,吹田市,箕面市,豊能町,能勢町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 豊能医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(豊能医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 豊能(池田市)は、総人口約 1008 千人(2015 年推計)、面積 275 km²、人口密度は 3658 人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 豊能の総人口は 2025 年に 968 千人へと減少し(2015 年比-4%)、2040 年に 865 千人へと減少する(2025 年比-11%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 119 千人が、2025 年にかけて 173 千人へと増加し(2015 年比+45%)、2040 年には 174 千人へと増加する(2025 年比+1%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 豊能の一人当たり医療費(国保)は 323 千円(偏差値 53)、介護給付費は 237 千円(偏差値 46)であり、医療費はやや高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 豊能の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.09、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.57 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 57(病院医師数 58、診療所医師数 53)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は 47 とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 49 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 55 とやや多い。豊能には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の大阪大学医学部附属病院(I 群・救命)、市立豊中病院、1000 例以上の市立池田病院、国立循環器病研究センター(II 群)、箕面市立病院、吹田病院、市立吹田市民病院、大阪府済生会千里病院(救命)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 46 と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 50 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 55 とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 47 で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 58 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 豊能の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11135 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 5644 床(偏差値 41)、高齢者住宅等が 5491 床(偏差値 56)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7861 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 44)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 42、特別養護老人ホーム 47、介護療養型医療施設なし(偏差値 40)、有料老人ホーム 59、軽費ホーム 52、グループホーム 44、サ高住 55 で

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

ある。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 64 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 47 とやや少ない。介護職員（在宅）の合計は、2417 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 63)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

【医療と介護の需要予測】

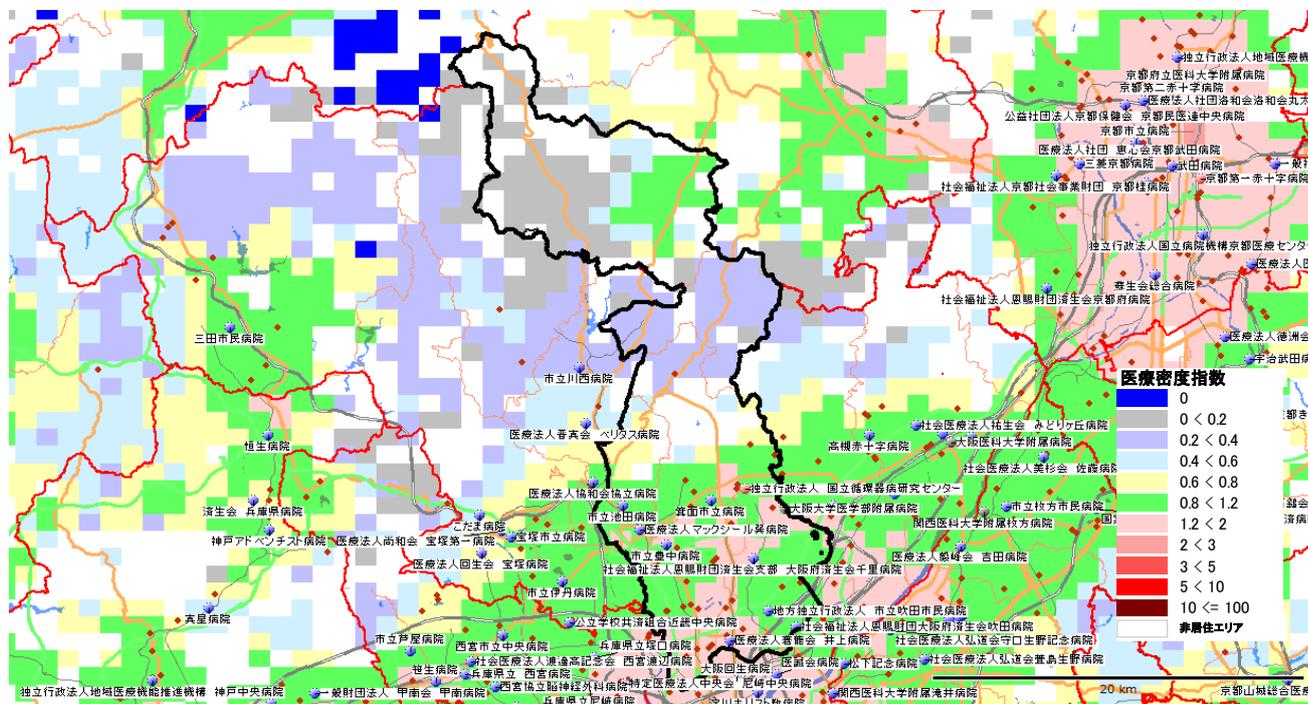
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は－7%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は－56%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

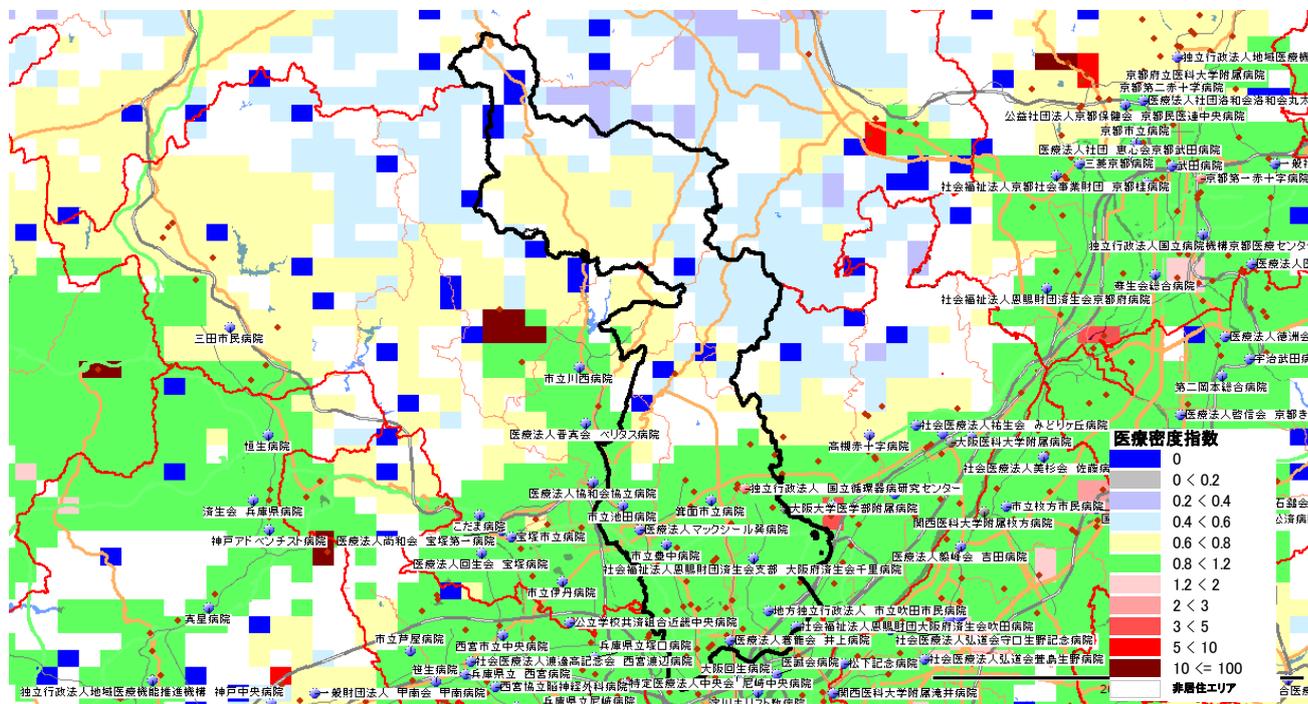
27. 大阪府

2. 医療密度⁵

図表 27-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 27-1-2 慢性期医療密度指数マップ

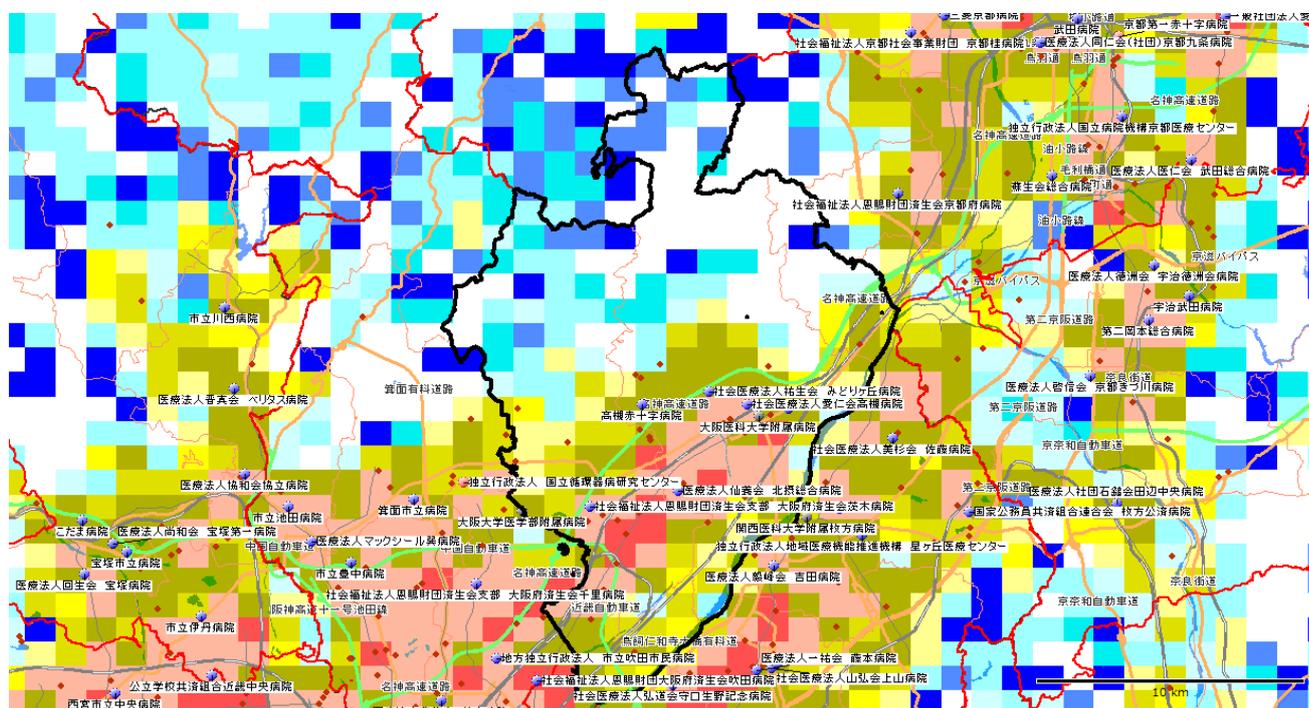


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

27-2. みしま 三島医療圏

構成市区町村¹ 高槻市,茨木市,摂津市,島本町

人口分布² (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先へ移動します。

² 三島医療圏を 1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000 ~10,000 人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成 22 年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(三島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 三島(摂津市)は、総人口約 749 千人(2015 年推計)、面積 213 km²、人口密度は 3509 人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 三島の総人口は 2025 年に 731 千人へと減少し(2015 年比-2%)、2040 年に 667 千人へと減少する(2025 年比-9%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 85 千人が、2025 年にかけて 131 千人へと増加し(2015 年比+54%)、2040 年には 125 千人へと減少する(2025 年比-5%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 三島の一人当たり医療費(国保)は 336 千円(偏差値 56)、介護給付費は 202 千円(偏差値 37)であり、医療費は高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 三島の一人当たり急性期医療密度指数³は 1、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.62 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 52(病院医師数 54、診療所医師数 47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 46 とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 50 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 48 と全国平均レベルである。三島には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の高槻病院、大阪医科大学附属病院(I 群)、1000 例以上の北摂総合病院、第一東和会病院、高槻赤十字病院、500 例以上の大阪府済生会茨木病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 45 と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 51 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 55 とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 54 で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 49 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 三島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6728 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 3912 床(偏差値 40)、高齢者住宅等が 2816 床(偏差値 47)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4865 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 38)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 41、特別養護老人ホーム 46、介護療養

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

型医療施設 42、有料老人ホーム 52、軽費ホーム 54、グループホーム 40、サ高住 49 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 70 と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値 49 と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、1246 人（75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52）で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

【医療と介護の需要予測】

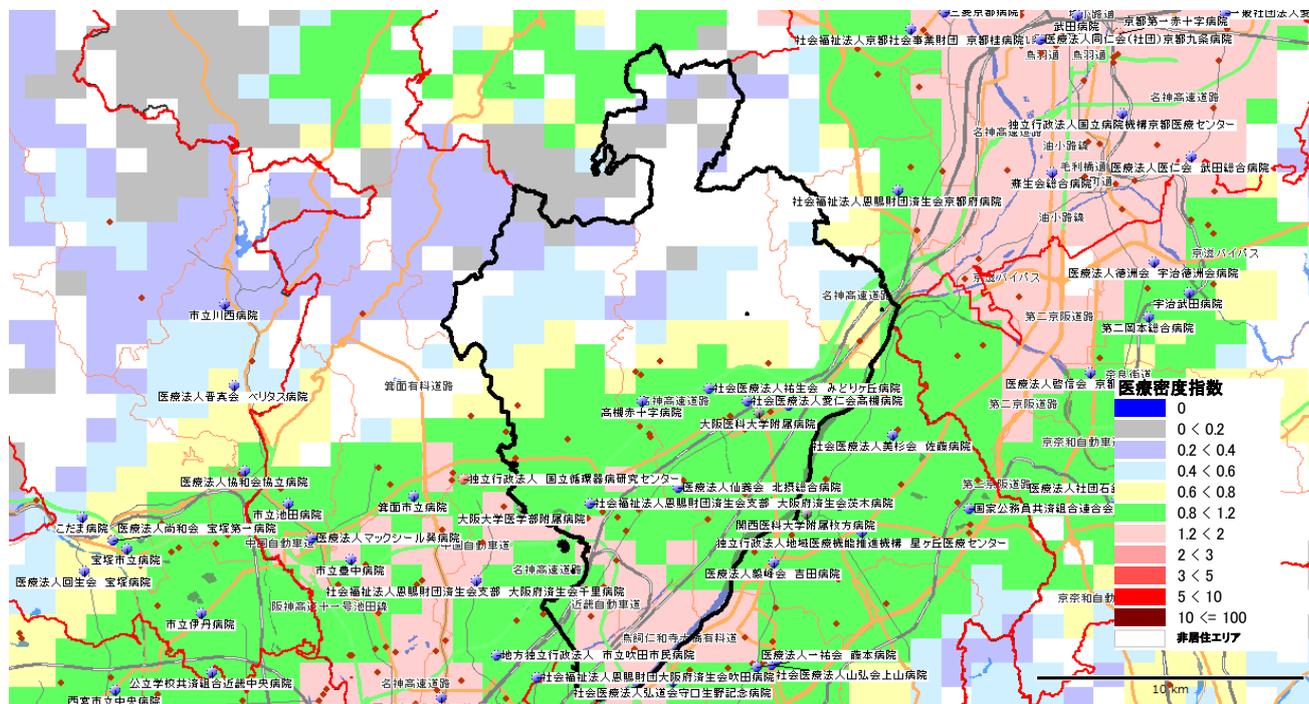
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は -24% であり、介護の充足度は低い。2040 年の介護充足度指数は -82% であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人（推定）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均（95.5 床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

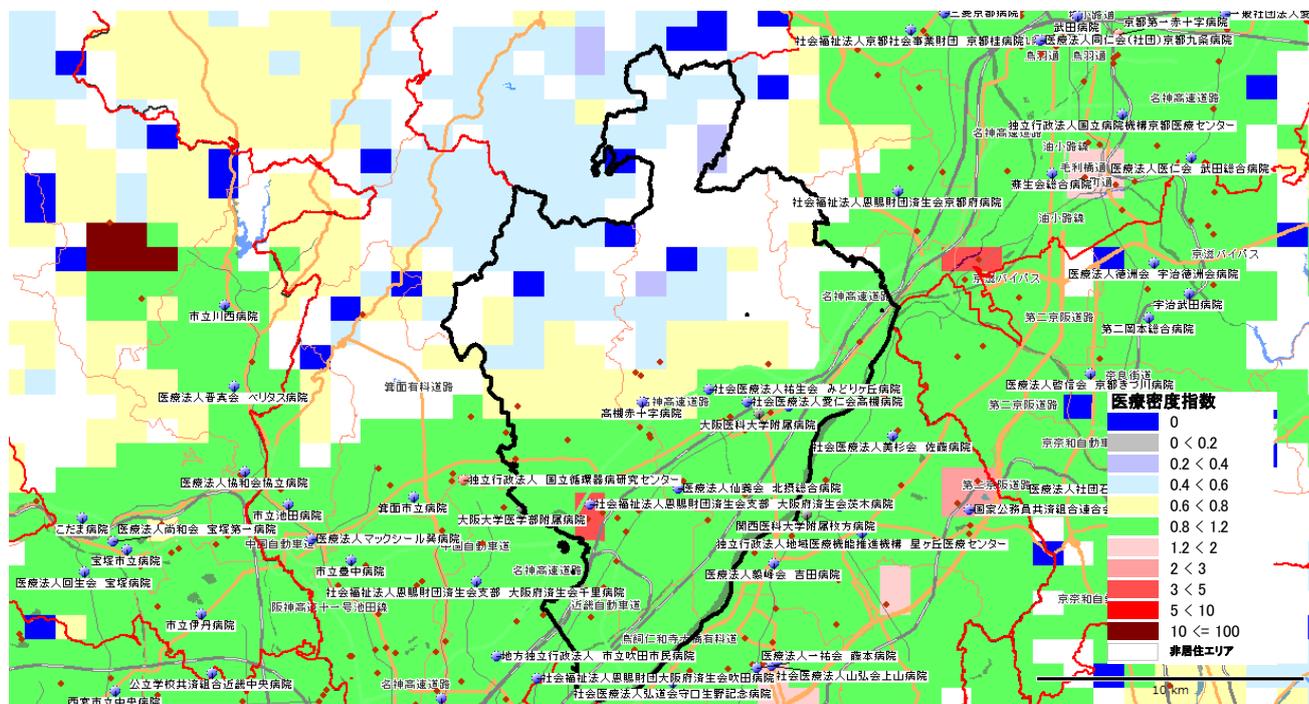
27. 大阪府

2. 医療密度⁵

図表 27-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 27-2-2 慢性期医療密度指数マップ

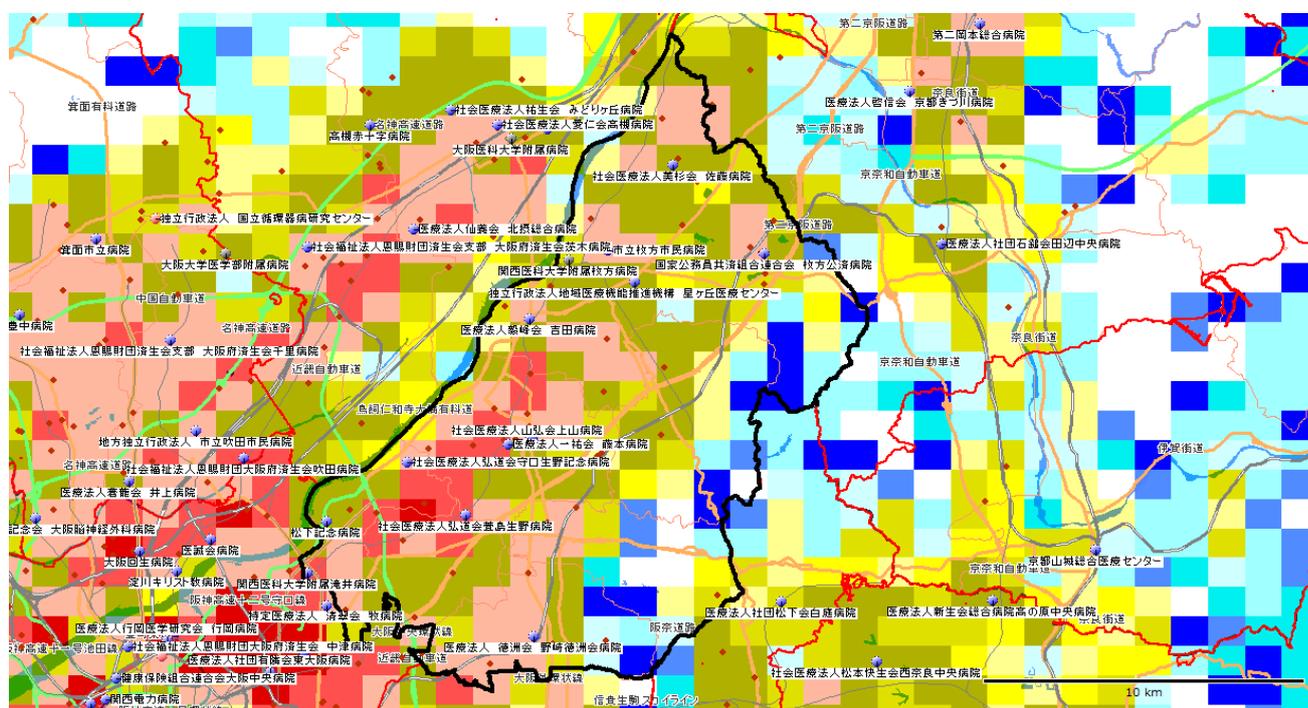


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

きたかわち 27-3. 北河内医療圏

構成市区町村¹ 守口市,枚方市,寝屋川市,大東市,門真市,四條畷市,交野市

人口分布² (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 北河内医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(北河内医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北河内(枚方市)は、総人口約 1172 千人(2015 年推計)、面積 177 km²、人口密度は 6609 人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北河内の総人口は 2025 年に 1109 千人へと減少し(2015 年比-5%)、2040 年に 956 千人へと減少する(2025 年比-14%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 138 千人が、2025 年にかけて 215 千人へと増加し(2015 年比+56%)、2040 年には 201 千人へと減少する(2025 年比-7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北河内の一人当たり医療費(国保)は 312 千円(偏差値 50)、介護給付費は 228 千円(偏差値 44)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北河内の一人当たり急性期医療密度指数³は 1、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.68 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 48(病院医師数 47、診療所医師数 50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 45 とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 48 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 48 と全国平均レベルである。北河内には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の関西医科大学附属枚方病院(I 群・救命)、関西医科大学附属滝井病院(救命)、1000 例以上の星ヶ丘医療センター、松下記念病院、500 例以上の佐藤病院、野崎徳洲会病院、市立枚方市民病院、枚方公済病院、小松病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 46 と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 48 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 52 と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 45 で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 48 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北河内の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、12616 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 6491 床(偏差値 41)、高齢者住宅等が 6125 床(偏差値 55)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、8904 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 43)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム55、軽費ホーム53、グループホーム45、サ高住58である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。介護職員（在宅）の合計は、2678人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

【医療と介護の需要予測】

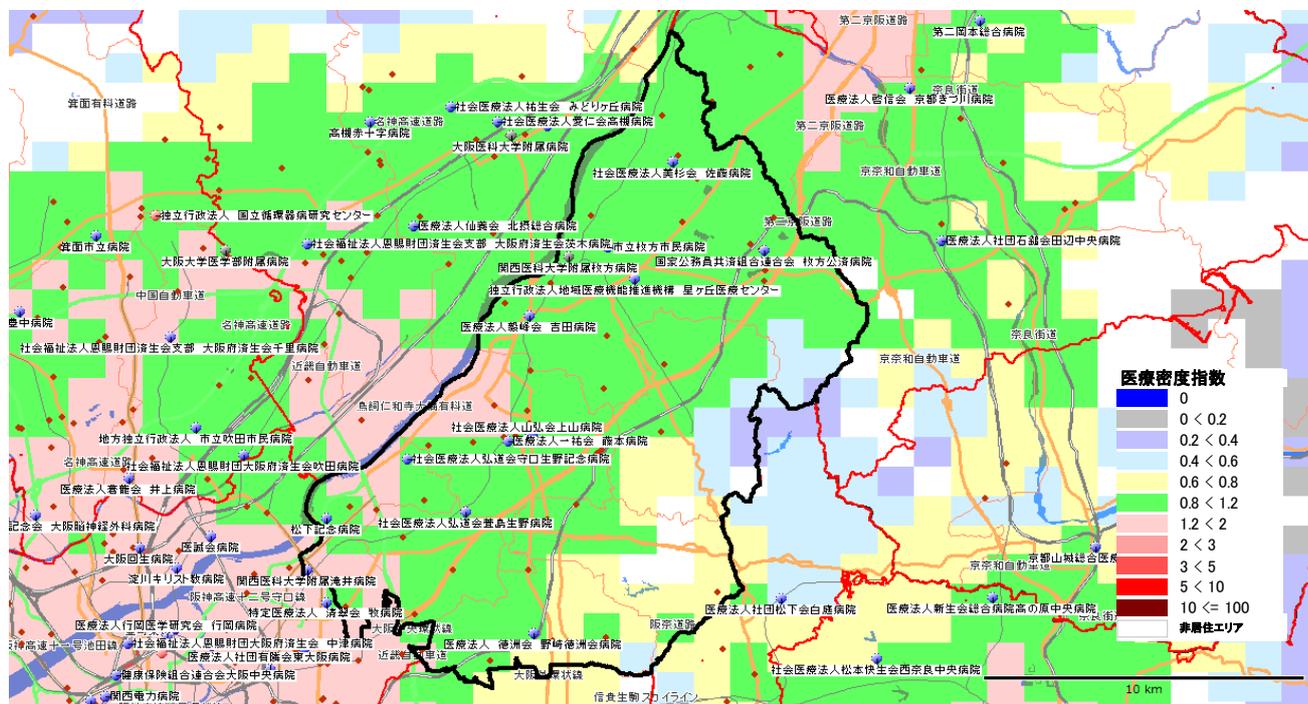
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-13%であり、介護の充足度は低い。2040年の介護充足度指数は-65%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

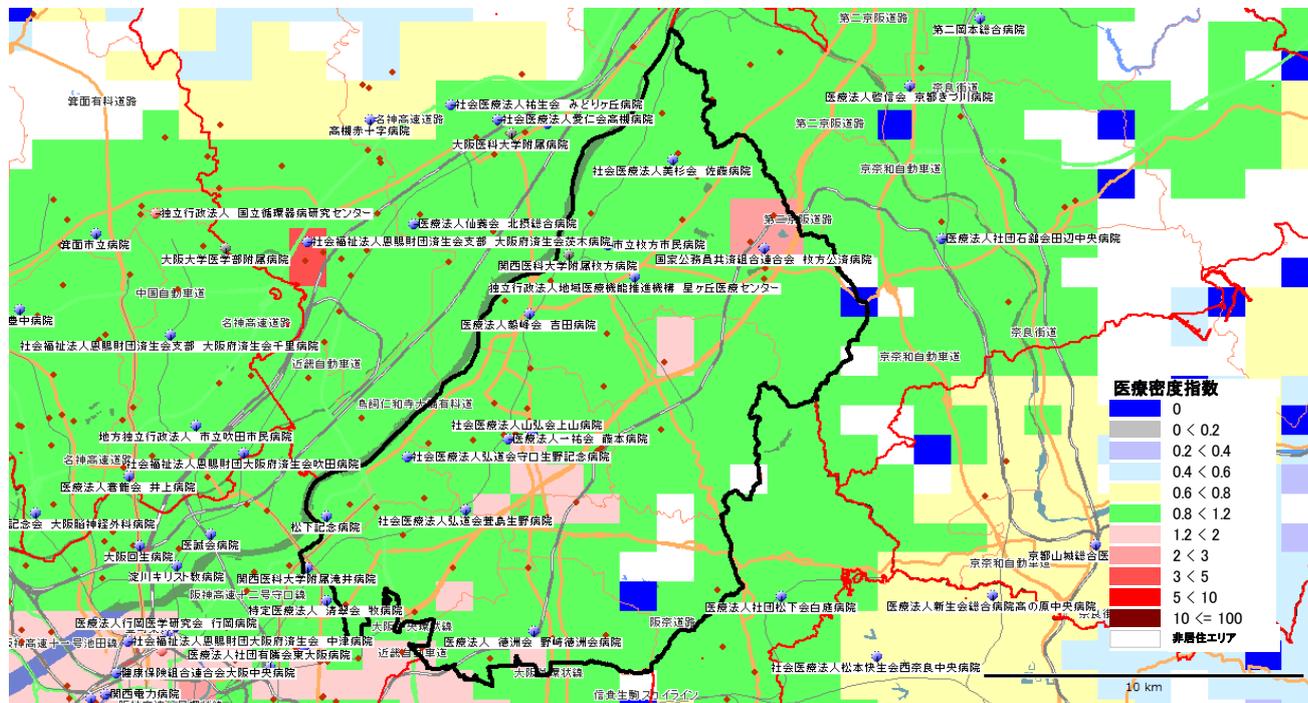
27. 大阪府

2. 医療密度⁵

図表 27-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 27-3-2 慢性期医療密度指数マップ

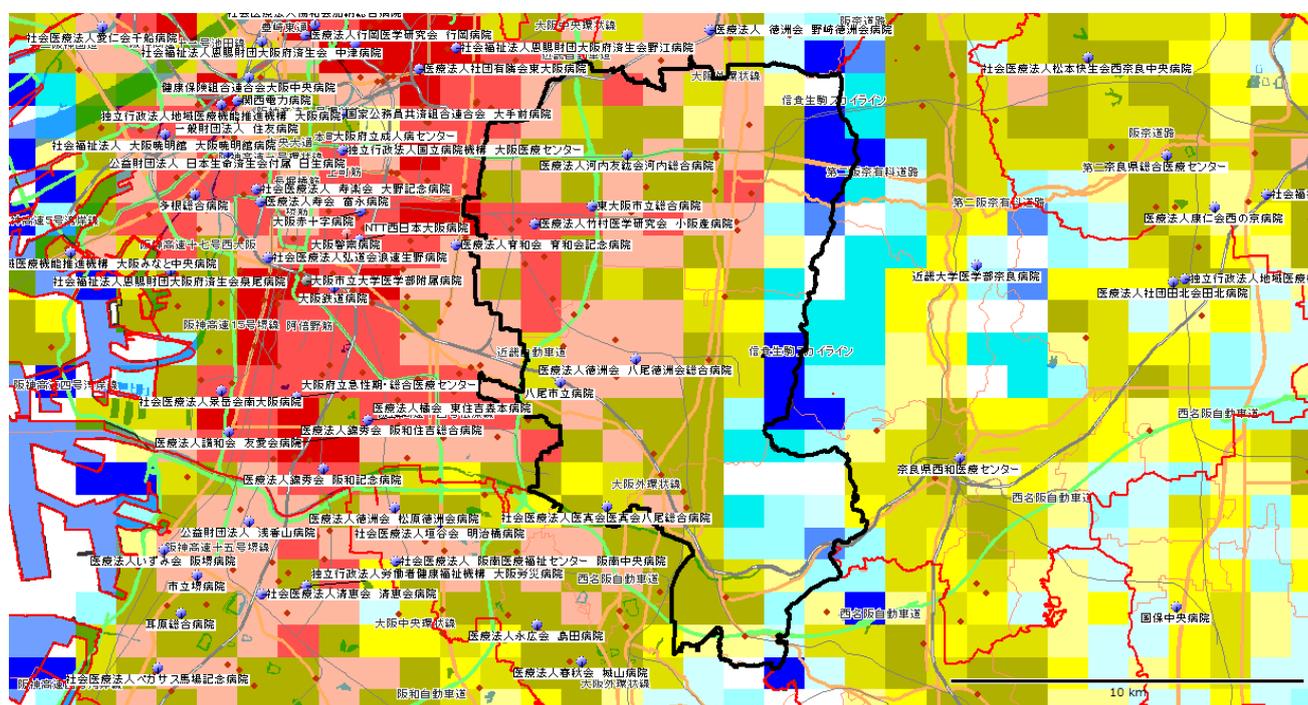


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

なかかわち 27-4. 中河内医療圏

構成市区町村¹ 八尾市, 柏原市, 東大阪市

人口分布² (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先へ移動します。

² 中河内医療圏を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(中河内医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中河内(東大阪市)は、総人口約 838 千人(2015 年推計)、面積 129 km²、人口密度は 6498 人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中河内の総人口は 2025 年に 779 千人へと減少し(2015 年比-7%)、2040 年に 659 千人へと減少する(2025 年比-15%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 105 千人が、2025 年にかけて 150 千人へと増加し(2015 年比+43%)、2040 年には 137 千人へと減少する(2025 年比-9%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中河内の一人当たり医療費(国保)は 320 千円(偏差値 52)、介護給付費は 250 千円(偏差値 50)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 中河内の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.87、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.15 で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 44(病院医師数 41、診療所医師数 51)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 41 と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 43 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 45 とやや少ない。中河内には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の八尾市立病院、八尾徳洲会総合病院、1000 例以上の東大阪市立総合病院、500 例以上の八尾総合病院、河内総合病院、若草第一病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 45 と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 47 とやや少なく、回復期病床数は偏差値 47 とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 48 で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 50 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中河内の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9546 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 4926 床(偏差値 41)、高齢者住宅等が 4620 床(偏差値 55)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6119 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 39)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 38、特別養護老人ホーム 47、介護療養

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

型医療施設 47、有料老人ホーム 46、軽費ホーム 45、グループホーム 46、サ高住 73 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 64 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 48 と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、2656 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 72)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

【医療と介護の需要予測】

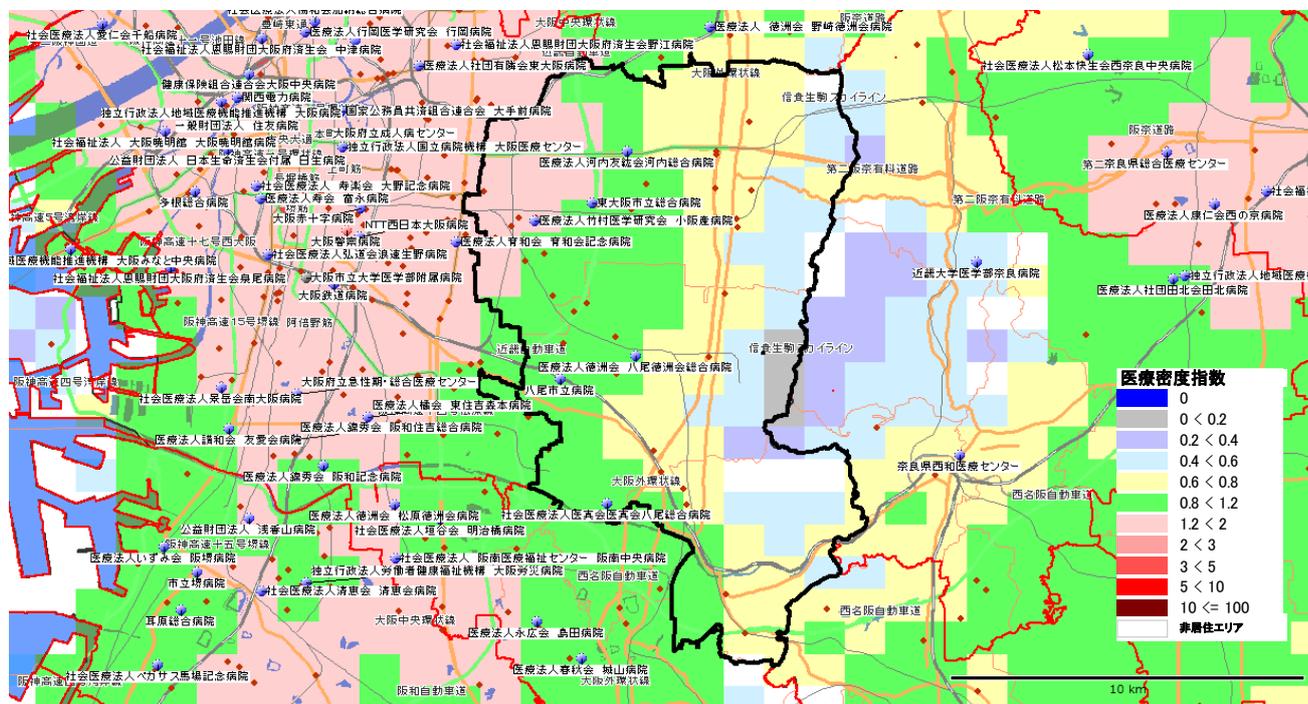
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は－30%であり、介護の充足度は低い。2040 年の介護充足度指数は－70%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

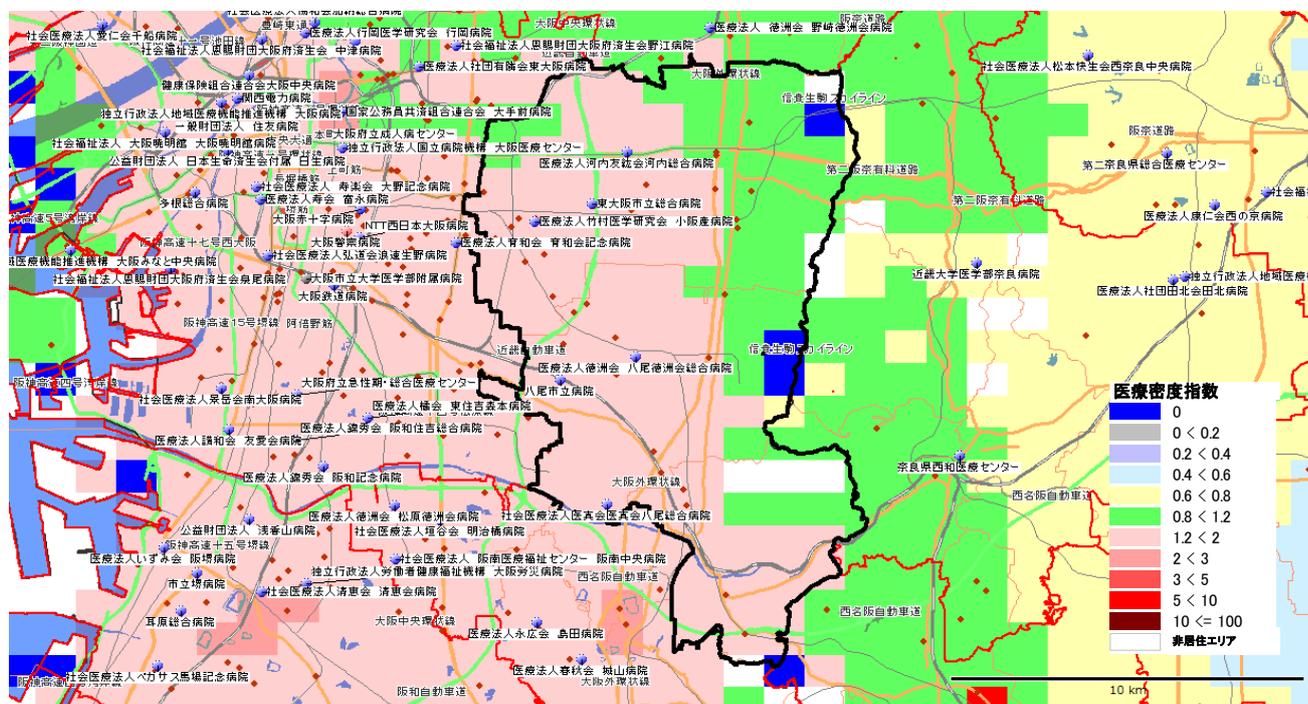
27. 大阪府

2. 医療密度⁵

図表 27-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 27-4-2 慢性期医療密度指数マップ

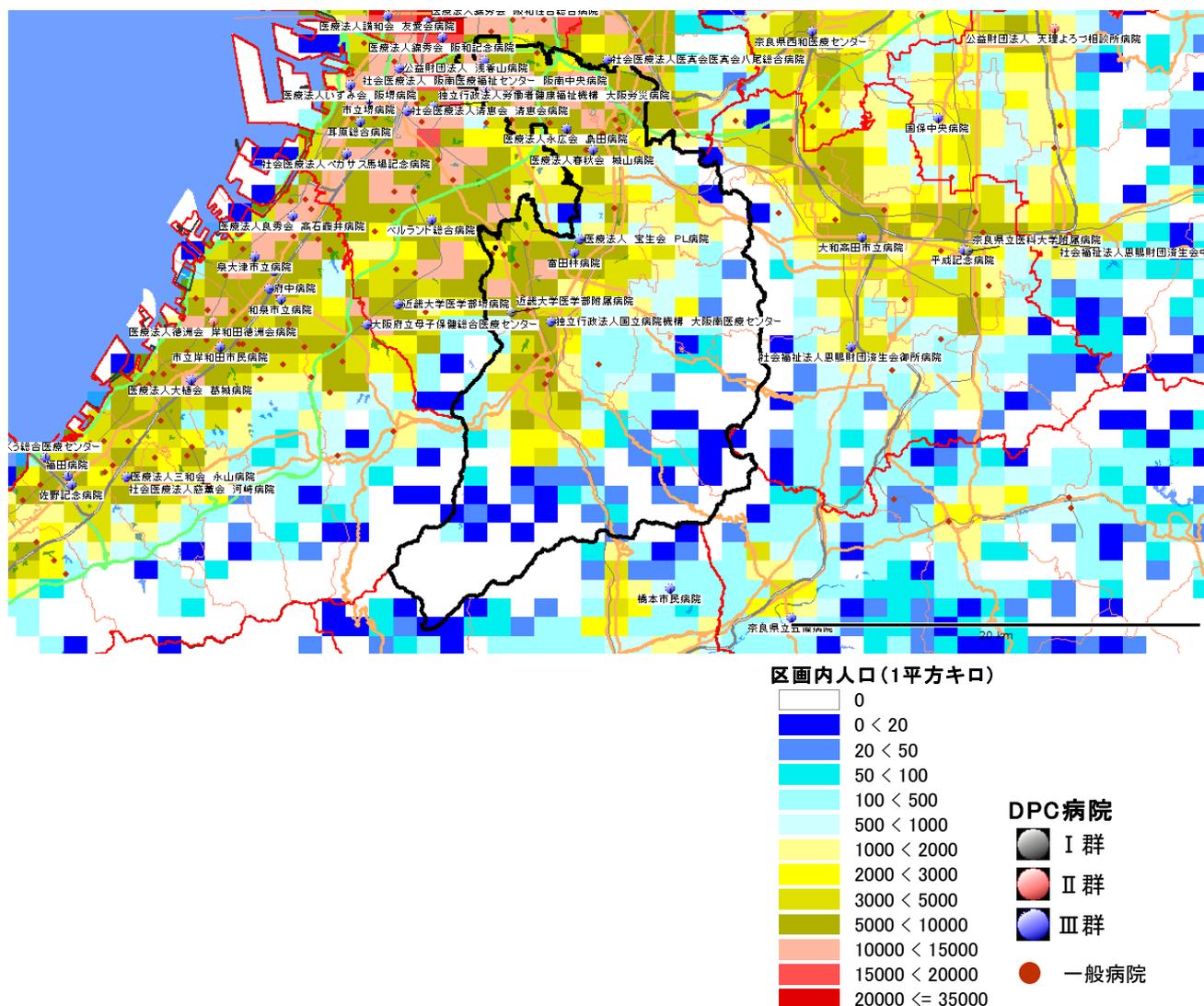


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

みなみかわち 27-5. 南河内医療圏

構成市区町村¹ [富田林市](#), [河内長野市](#), [松原市](#), [羽曳野市](#), [藤井寺市](#), [大阪狭山市](#), [太子町](#), [河南町](#),
[千早赤阪村](#)

人口分布² (1km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 南河内医療圏を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(南河内医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南河内(松原市)は、総人口約 620 千人(2015 年推計)、面積 290 km²、人口密度は 2138 人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南河内の総人口は 2025 年に 575 千人へと減少し(2015 年比-7%)、2040 年に 484 千人へと減少する(2025 年比-16%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 80 千人が、2025 年にかけて 116 千人へと増加し(2015 年比+45%)、2040 年には 111 千人へと減少する(2025 年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南河内の一人当たり医療費(国保)は 323 千円(偏差値 53)、介護給付費は 244 千円(偏差値 48)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 南河内の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.93、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.65 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 52(病院医師数 57、診療所医師数 41)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多く、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 53 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 49 と全国平均レベルである。南河内には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の近畿大学医学部附属病院(I 群・救命)、1000 例以上の大阪南医療センター、500 例以上の P L 病院、富田林病院、松原徳洲会病院、島田病院、城山病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 52 と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 47 とやや少なく、回復期病床数は偏差値 44 と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 50 で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 48 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南河内の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6495 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 4100 床(偏差値 44)、高齢者住宅等が 2395 床(偏差値 45)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5591 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 41、特別養護老人ホーム 49、介護療養型医療施設 48、有料老人ホーム 48、軽費ホーム 54、グループホーム 44、サ高住 47 である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 63 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 52 と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、1413 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 58)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

【医療と介護の需要予測】

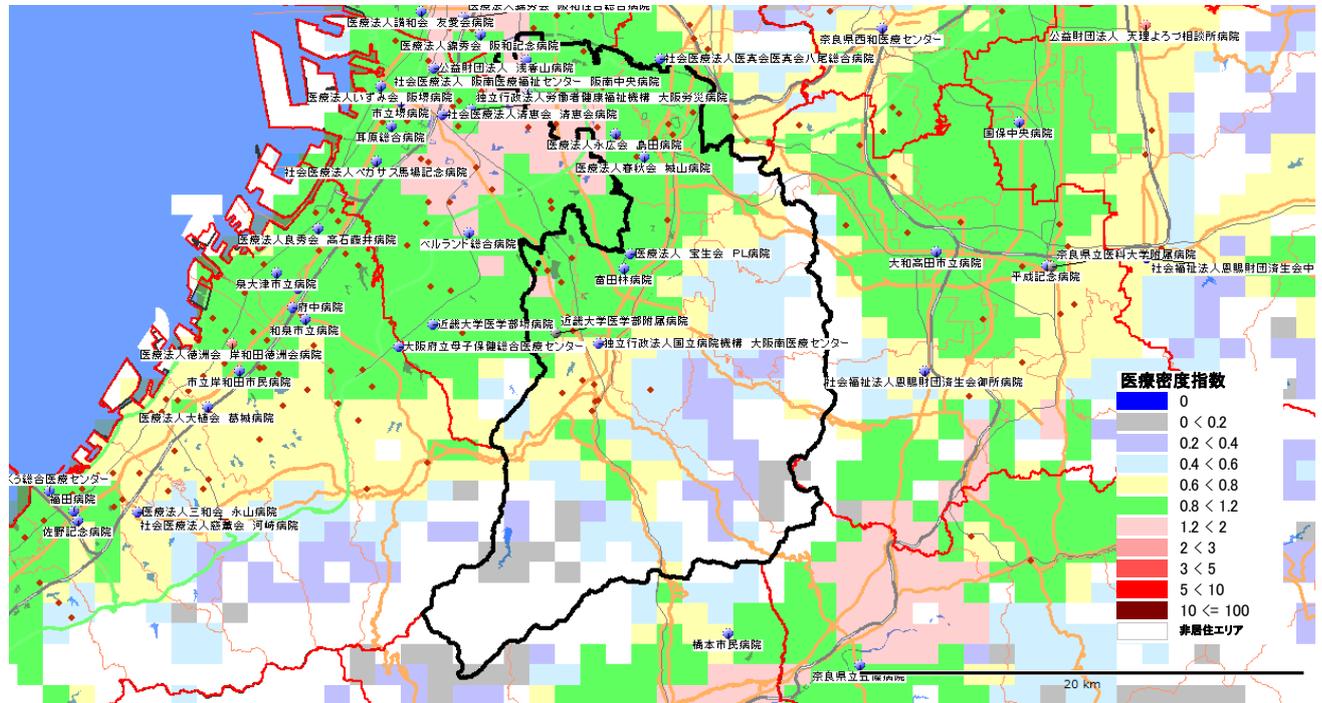
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は－18%であり、介護の充足度は低い。2040 年の介護充足度指数は－64%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均 (95.5 床) と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

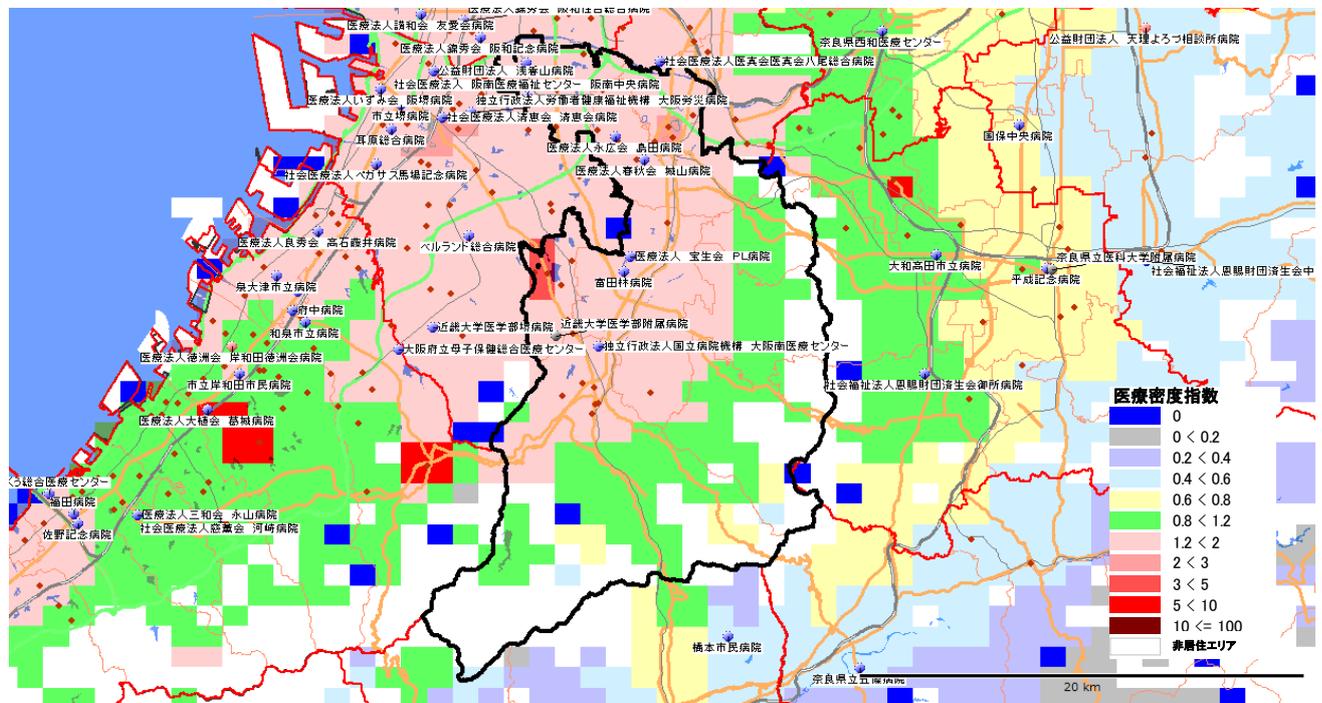
27. 大阪府

2. 医療密度⁵

図表 27-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表 27-5-2 慢性期医療密度指数マップ

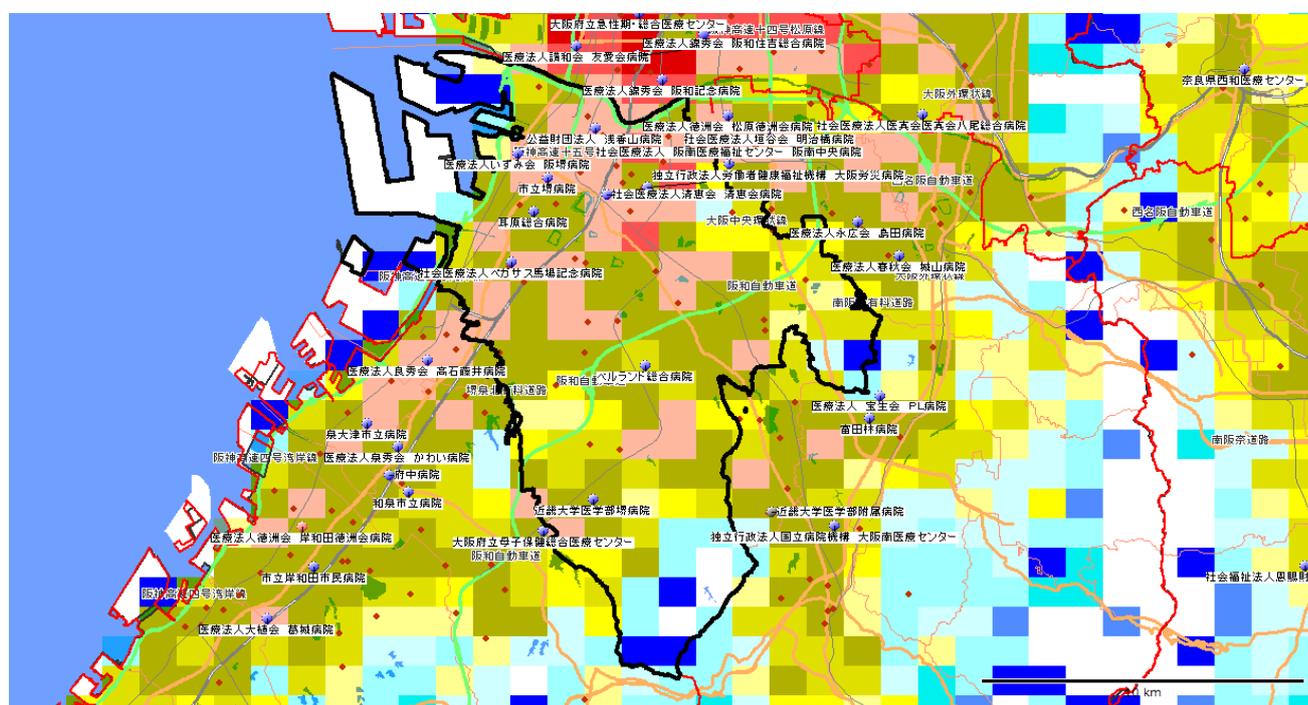


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

27-6. さかいし 堺市医療圏

構成市区町村¹ [堺区](#), [中区](#), [東区](#), [西区](#), [南区](#), [北区](#), [美原区](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 堺市医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(堺市医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 堺市(堺市)は、総人口約 842 千人(2015 年推計)、面積 150 km²、人口密度は 5611 人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 堺市の総人口は 2025 年に 814 千人へと減少し(2015 年比-3%)、2040 年に 739 千人へと減少する(2025 年比-9%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 100 千人が、2025 年にかけて 146 千人へと増加し(2015 年比+46%)、2040 年には 135 千人へと減少する(2025 年比-8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 堺市の一人当たり医療費(国保)は 333 千円(偏差値 55)、介護給付費は 255 千円(偏差値 51)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 堺市の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.09、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.57 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 50(病院医師数 48、診療所医師数 54)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 48 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。堺市には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の大阪労災病院、1000 例以上の市立堺病院、ベルランド総合病院、500 例以上の耳原総合病院、清恵会病院、馬場記念病院、近畿大学医学部堺病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 60 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 52 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 51 と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 53 で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 53 で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 堺市の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8831 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 4556 床(偏差値 40)、高齢者住宅等が 4275 床(偏差値 54)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6283 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 42)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 43、特別養護老人ホーム 42、介護療養

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

型医療施設 47、有料老人ホーム 47、軽費ホーム 52、グループホーム 50、サ高住 65 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 64 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 56 と多い。介護職員（在宅）の合計は、2896 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 79)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

【医療と介護の需要予測】

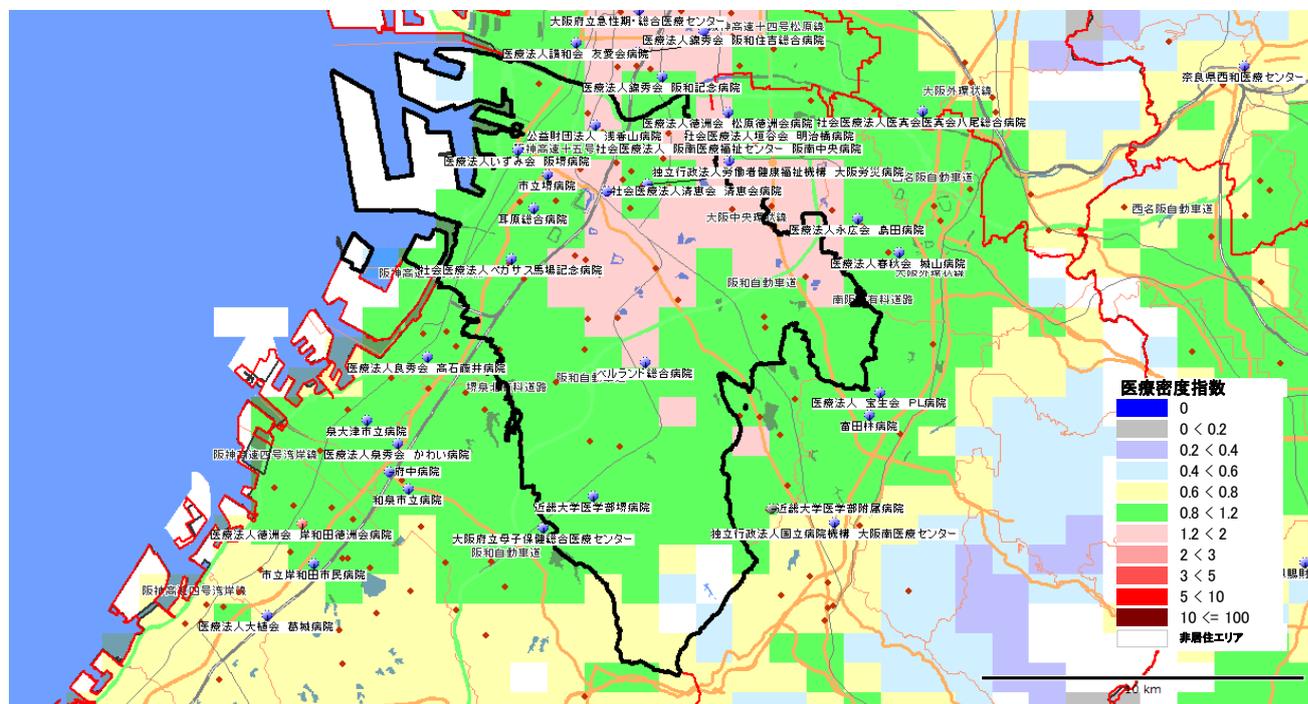
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は -25%であり、介護の充足度は低い。2040 年の介護充足度指数は -69%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

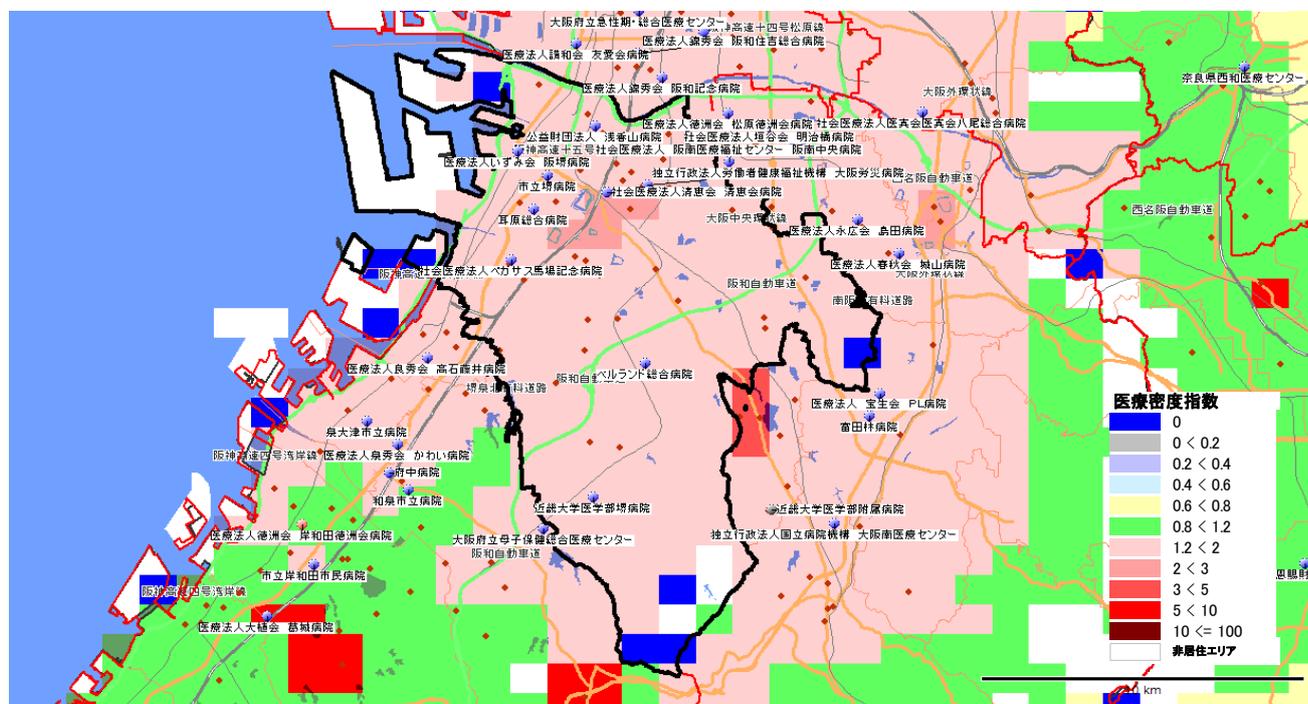
27. 大阪府

2. 医療密度⁵

図表 27-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表 27-6-2 慢性期医療密度指数マップ

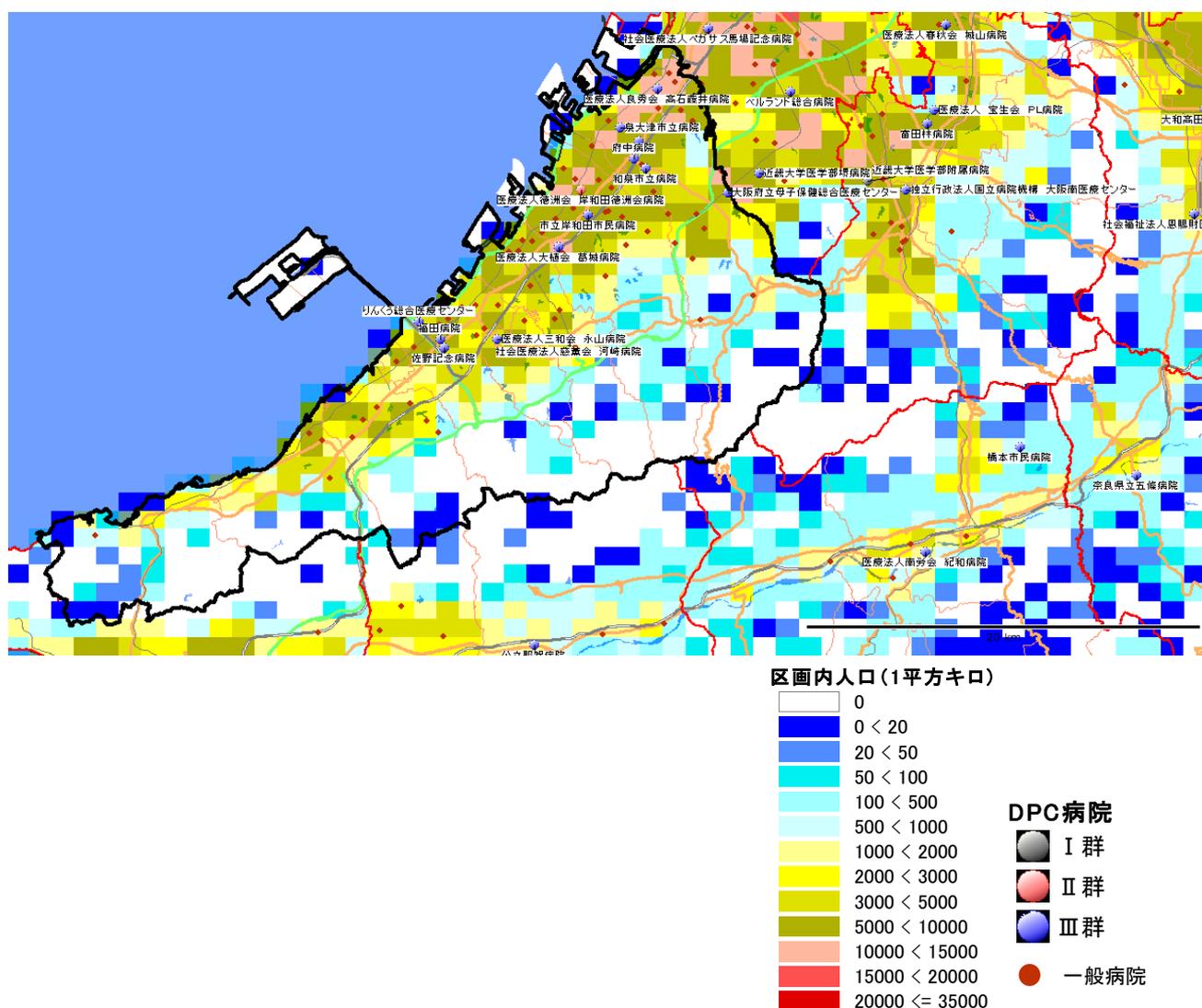


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

せんしゅう 27-7. 泉州医療圏

構成市区町村¹ [岸和田市](#), [泉大津市](#), [貝塚市](#), [泉佐野市](#), [和泉市](#), [高石市](#), [泉南市](#), [阪南市](#), [忠岡町](#), [熊取町](#),
[田尻町](#), [岬町](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 泉州医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(泉州医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 泉州(和泉市)は、総人口約 917 千人(2015 年推計)、面積 441 km²、人口密度は 2079 人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 泉州の総人口は 2025 年に 881 千人へと減少し(2015 年比-4%)、2040 年に 792 千人へと減少する(2025 年比-10%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 104 千人が、2025 年にかけて 148 千人へと増加し(2015 年比+42%)、2040 年には 148 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 泉州の一人当たり医療費(国保)は 326 千円(偏差値 54)、介護給付費は 245 千円(偏差値 49)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 泉州の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.78、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.07 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 47(病院医師数 49、診療所医師数 44)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 42 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 52 と全国平均レベルである。泉州には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上のりんくう総合医療センター(救命)、大阪府立母子保健総合医療センター、岸和田徳洲会病院(Ⅱ群・救命)、1000 例以上の府中病院、市立岸和田市民病院、500 例以上の佐野記念病院、和泉市立病院、葛城病院、泉大津市立病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 59 と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 53 とやや多く、回復期病床数は偏差値 53 とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 69 で精神病床数は非常に多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 46 で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 泉州の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8768 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 4770 床(偏差値 40)、高齢者住宅等が 3998 床(偏差値 51)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6016 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 38)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 43、特別養護老人ホーム 40、介護療養

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

型医療施設 52、有料老人ホーム 44、軽費ホーム 55、グループホーム 43、サ高住 67 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 59 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 64 と多い。介護職員（在宅）の合計は、2630 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 72)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

【医療と介護の需要予測】

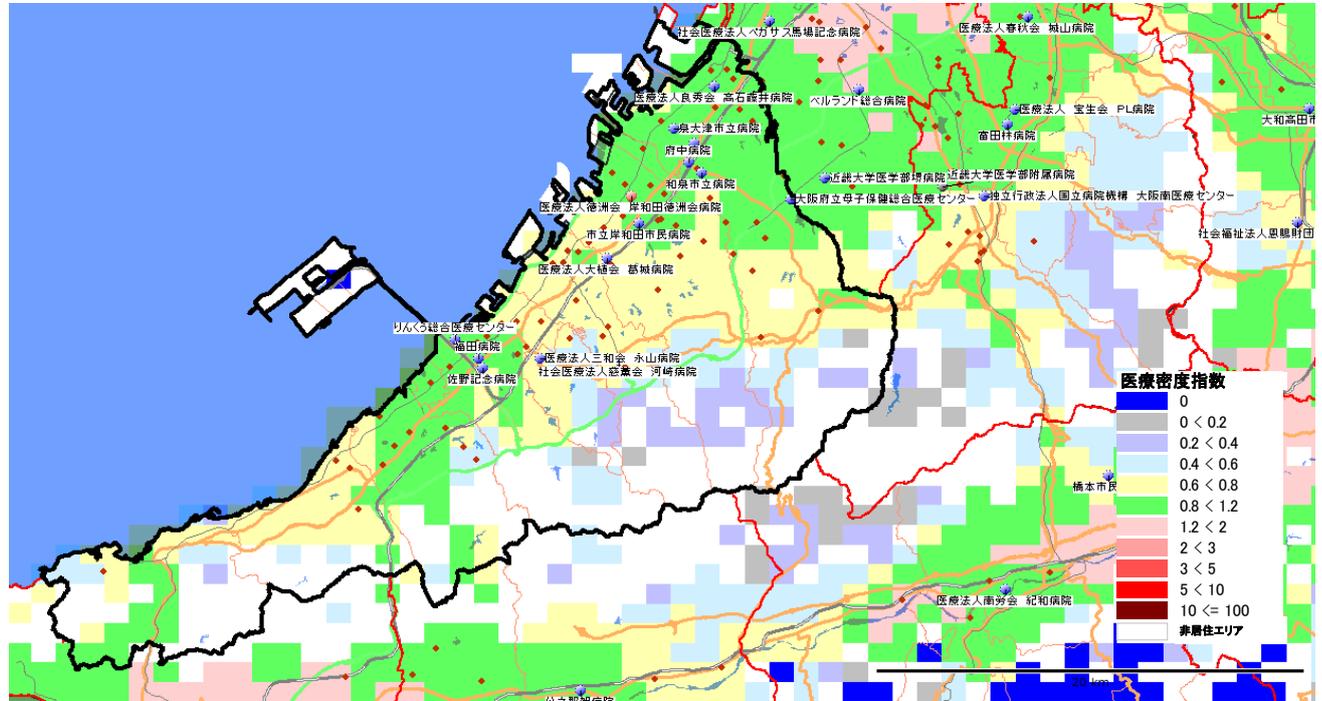
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-37%であり、介護の充足度はかなり低い。2040 年の介護充足度指数は-93%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

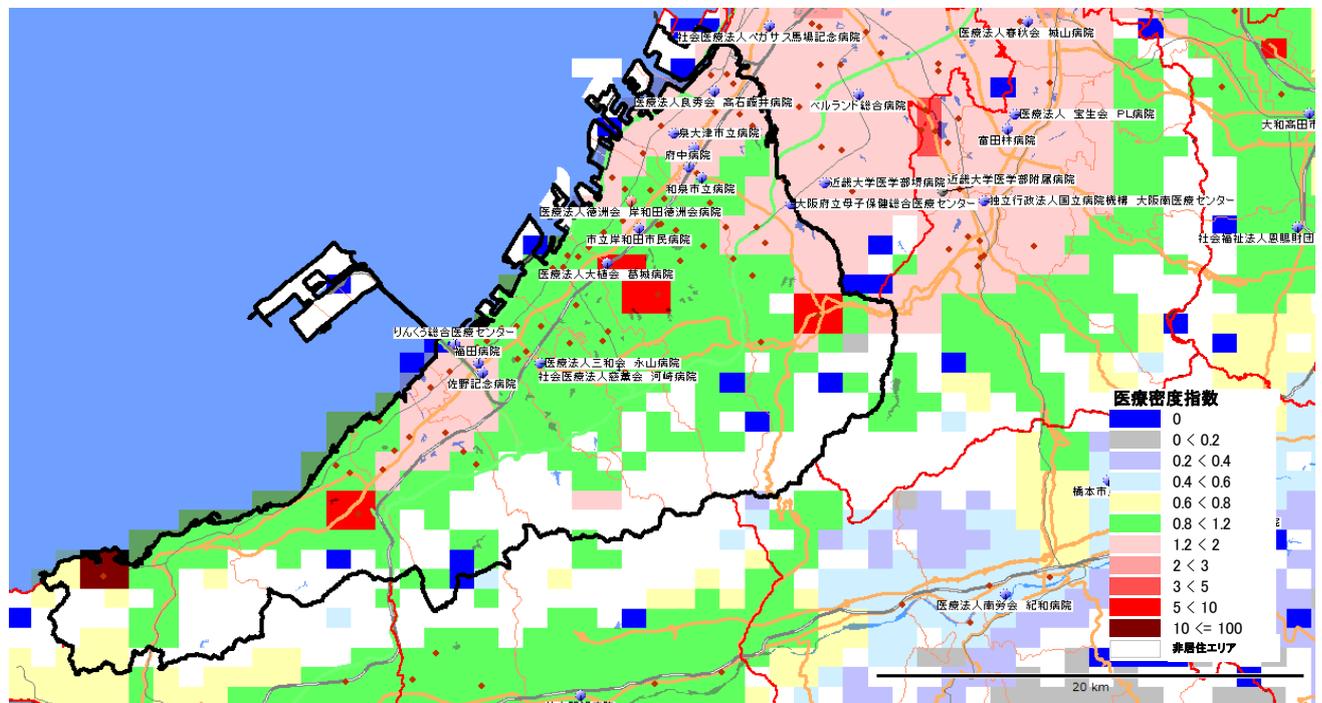
27. 大阪府

2. 医療密度⁵

図表 27-7-1 急性期医療密度指数マップ



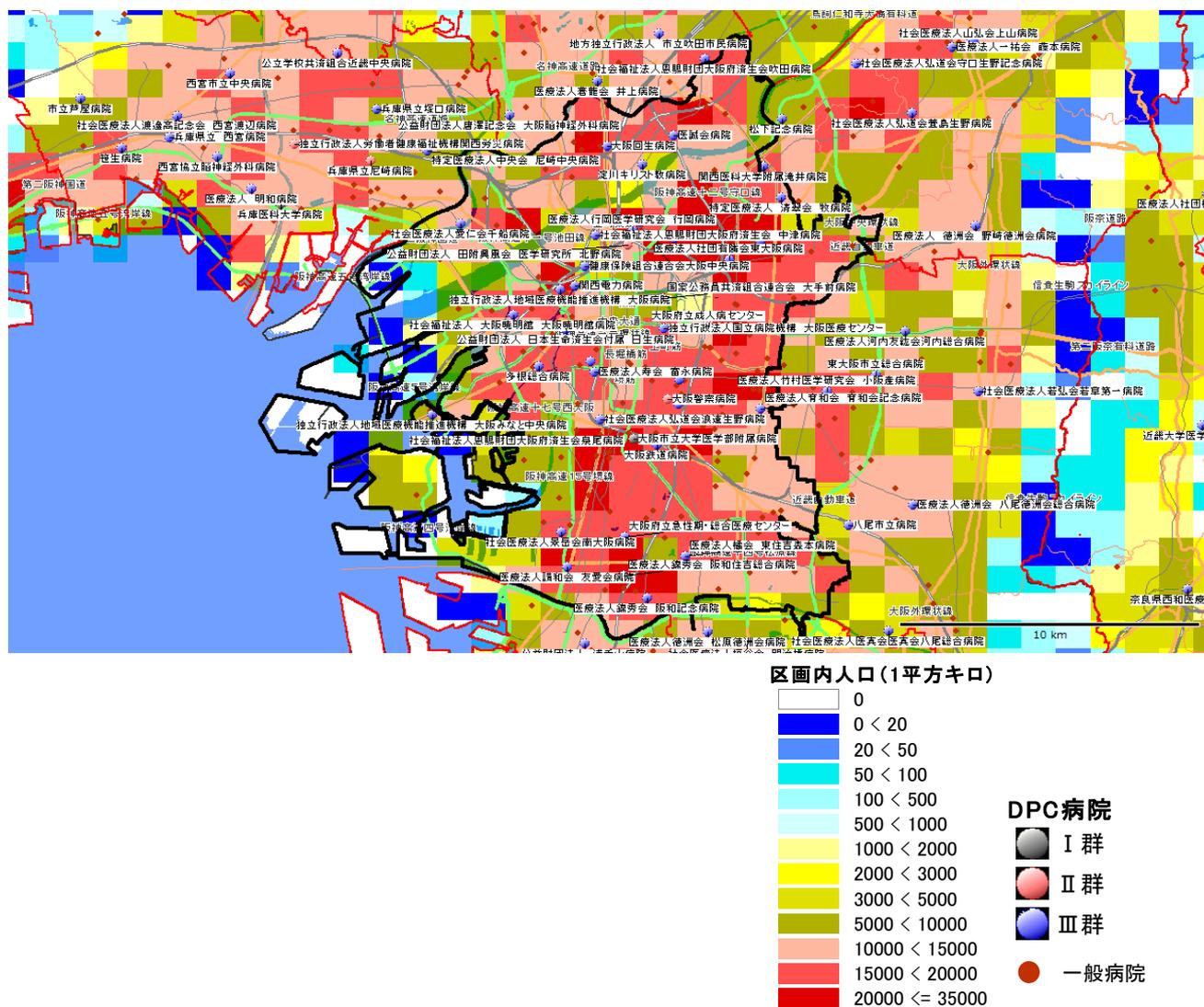
図表 27-7-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

27-8. 大阪市医療圏

構成市区町村¹ [都島区](#), [福島区](#), [此花区](#), [西区](#), [港区](#), [大正区](#), [天王寺区](#), [浪速区](#), [西淀川区](#), [東淀川区](#), [東成区](#), [生野区](#), [旭区](#), [城東区](#), [阿倍野区](#), [住吉区](#), [東住吉区](#), [西成区](#), [淀川区](#), [鶴見区](#), [住之江区](#), [平野区](#), [北区](#), [中央区](#)
 人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 大阪市医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(大阪市医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 大阪市(大阪市)は、総人口約 2664 千人(2015 年推計)、面積 222 km²、人口密度は 11974 人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 大阪市の総人口は 2025 年に 2553 千人へと減少し(2015 年比-4%)、2040 年に 2292 千人へと減少する(2025 年比-10%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 340 千人が、2025 年にかけて 448 千人へと増加し(2015 年比+32%)、2040 年には 442 千人へと減少する(2025 年比-1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 大阪市の一人当たり医療費(国保)は 303 千円(偏差値 48)、介護給付費は 297 千円(偏差値 63)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 大阪市の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.31、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.85 で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 65(病院医師数 62、診療所医師数 68)と、総医師数と病院医師数は多く、診療所医師数は非常に多い。総看護師数の偏差値は 52 と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 62 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 57 と多い。大阪市には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の淀川キリスト教病院、大阪市立総合医療センター(救命)、大阪病院、大阪赤十字病院(救命)、大阪市立大学医学部附属病院(I 群・救命)、大阪府立急性期・総合医療センター(救命)、大阪医療センター(救命)、中津病院、北野病院(II 群)、大阪警察病院(II 群・救命)、大阪府立成人病センター(II 群)、1000 例以上の医誠会病院、関西電力病院、日生病院、野江病院、大阪鉄道病院、富永病院、大阪中央病院、住友病院、多根総合病院、500 例以上の大阪回生病院、大阪みなと中央病院、阪和住吉総合病院、南大阪病院、牧病院、大阪府済生会泉尾病院、東住吉森本病院、大野記念病院、N T T 西日本大阪病院、千船病院、大手前病院、行岡病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 50 と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 50 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 51 と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 38 で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 74 で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 大阪市の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、31044 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

が 16778 床(偏差値 43)、高齢者住宅等が 14266 床(偏差値 54)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、21304 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 42)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 45、特別養護老人ホーム 46、介護療養型医療施設 45、有料老人ホーム 53、軽費ホーム 44、グループホーム 46、サ高住 59 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 81 と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値 55 とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、11391 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 87)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

【医療と介護の需要予測】

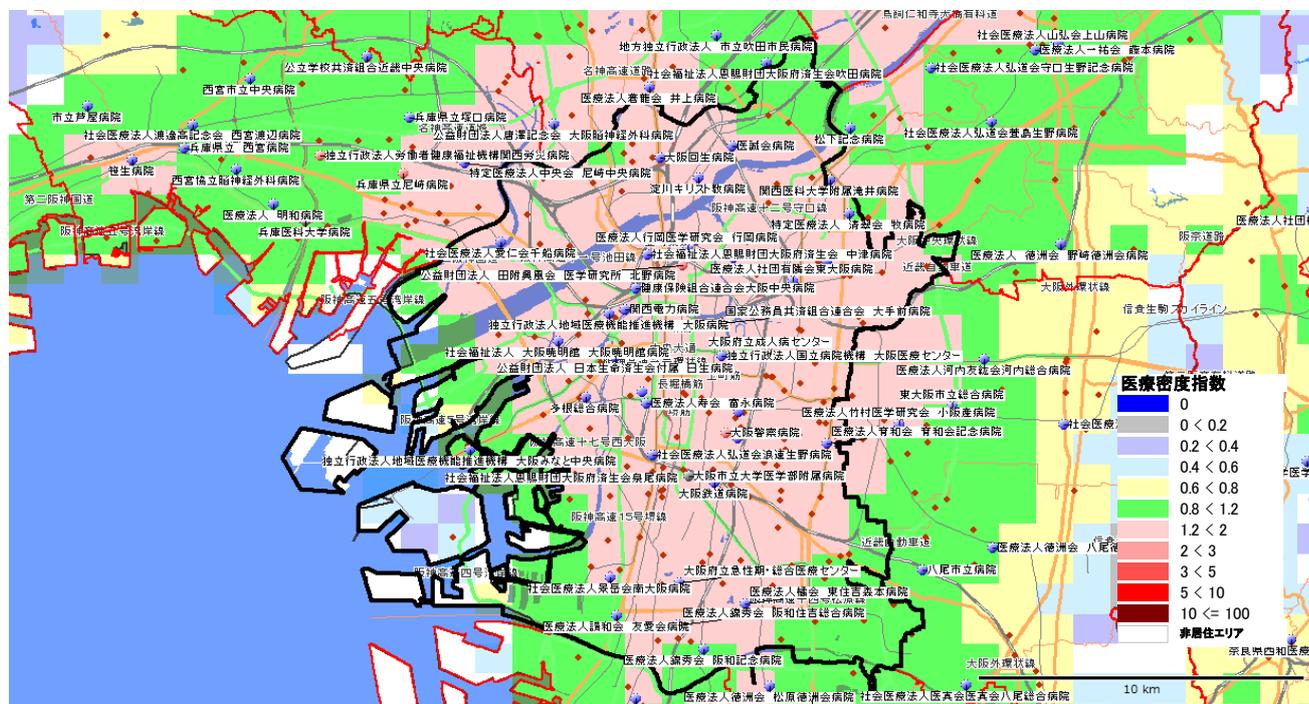
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-13%であり、介護の充足度は低い。2040 年の介護充足度指数は-46%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

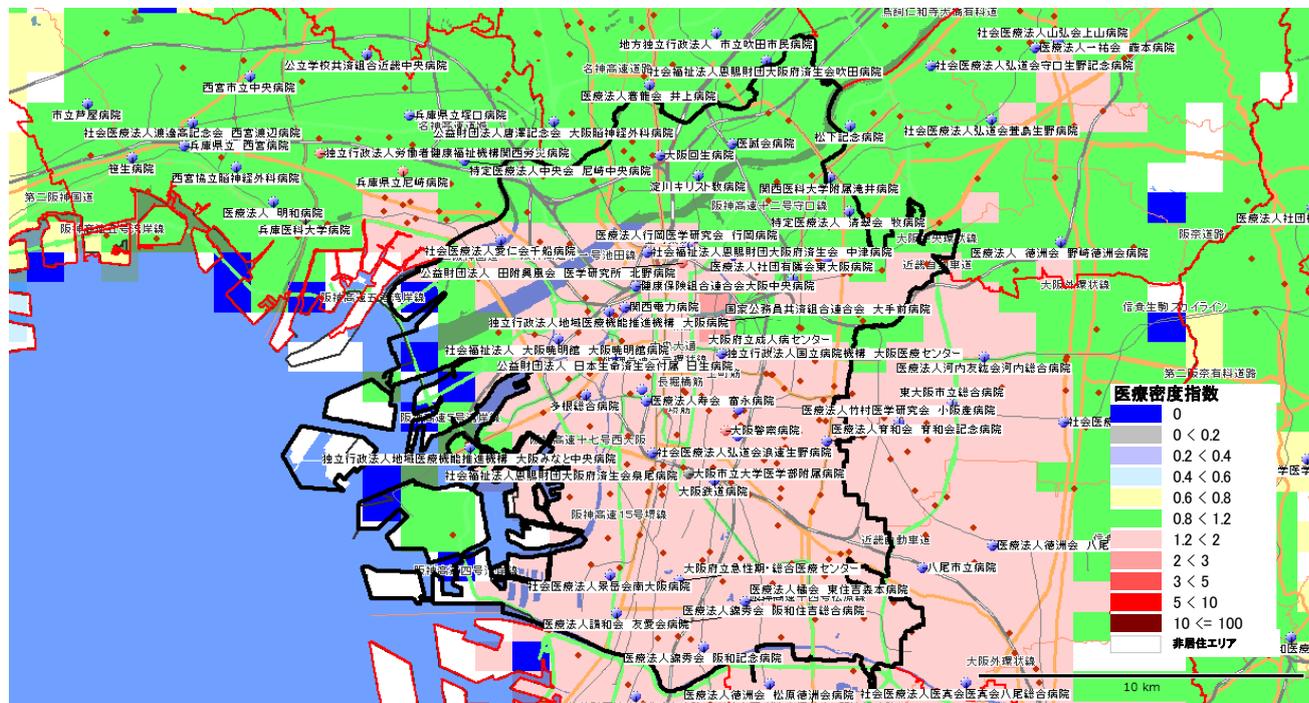
27. 大阪府

2. 医療密度⁵

図表 27-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表 27-8-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。